

第二十七回帝國議會 衆議院 蠶絲業法案委員會會議錄(速記)第五回

會議

明治四十四年二月二十二日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

野田 卯太郎君 武藤 金吉君 村上 先君
築山 和一君 翠川 鐵三君 吉植 庄一郎君
堀江 覺治君 平島 松尾君 高木 正年君
須藤 嘉吉君 久保田與四郎君 中島 祐八君
關口 安太郎君

出席政府委員左ノ如シ

農商務次官 押川 則吉君 農商務省農務局長 下岡 忠治君

農商務省商務局長 大久保利武君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農商務技師 芳賀權四郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

蠶絲業法案

○委員長(野田卯太郎君) 開會致シマス

○武藤金吉君 此法案中命令ニ讓リタル事項ヲ拜見シテ、殊ニ二三御尋シテ見タイコトガ二三ゴザイマス、前回ニ於テ桑ノコトニ付テ下岡サンカ御答ガアツタガ、此命令ノ中ニハ少ナクとも原蠶種ヲ作ルニハ最モ優等ナル桑ガ無ケレバイカヌハ事實デアリマシテ、桑園ニ付テハ何等ノ命令ガゴザイマセヌガ、是ハ如何致ス積リデアルカ、ソレカラ繭ノ形ノ整理デアリマス、蠶種製造業ノ最モ苦慮スルコトデアツテ、殊ニ種ヲ拵ヘル祕傳ニナツテ居ル譯デアツテ、サウシテ繭ヲ拵ヘルコトデアツテ、種ヲ拵ヘルコトニ於テ集ノ崩レナイト云フ方法ヲ取ルト云フコトハ、實際經驗ニ富シテ居リマス種ノ製造人ガ今マデ苦心シテ居ルコトデアル、此度政府デアリマスル原々種ノ製造ニ對シマシテハ、勿論種々研究致シマシタ結果ヤルコトデアルトハ思ヒマスルガ、其原繭ノ撰擇ハ、收繭上ノ繭ノドレ位ノ種ヲ撰シテ掃立テリデアルカ、例ヘバ掃立蟻量一匁ニ對シテ框製ガ二十枚ハ致シマスレバ、是ニ二十八蛾ヲ附ケマスレバ五百六十蛾ニナル譯デアリマスルガ、是ハ此命令ニモ其通り書イテゴザイマスルガ、此邊ノコトヲ書イデアリマスル以外ニドウ云フ風ニシテ原々種ヲ作ルト云フコトヲ御答ヲ願ヒタイ、ソレカラ之ニ對シマスル桑ハドノ位原々種ヲ製造スルニ用井ル、此間モ御尋致シマシタケレドモ、下岡サンカラ之ニ對シテ御答ガ無カッタ、強イテ私ノ方モ御尋シタイト思ヒマシタガ、時間モゴザイマセヌカラ散會致シマシタガ、今日ハソレ等ニ付テ書キマシタモノガアリマスレバ、ソレヲ配布ヲ願フデモ宜シイガ、此桑園ハ例ヘバ原々種ヲ十分ノ一作ルト致シマスレバ、之ニ對スル桑園ノ準備ハ何町歩要ルモノデアルカ、サウシテ是カラ得ルトコロノ原繭ト云フモノハ殆ド何石何斗要ルモノデアルカ、其中ラドウ云フ風ニ撰擇シテ取ル、ソレカラ夫等ノ數字ハ豫メ其設備ヲスルニ付テハ無

論御調査ニナツテ居ルコトデアラウト思ヒマスカラ、甚ダ事實上ニ互ツタ質問デアリマシタケレドモ、先以テ此繭ノ健全ヲ計ルニハドウ云フ桑ヲ使ッタラ宜カラウ、繭ノ形ノ整一ヲ期スルニハドウ云フ方法ニシテ撰擇ノ方法ヲヤル、又今日マデノ蠶種製造ニ付テハ、繭病豫防法モアリマスケレドモ、長野縣ニ於テモ、福島縣馬場玉ニ於テモ、種屋ノ弊害ト云フモノハ其極ニ達シテ居ル、此種屋ノ弊害ヲ矯正スルニ付テハ最モ此原蠶種ノ製造方法ト云フコトガ御調査ニナツテ、根本ノ原則ヲ立ツデ置クコトハ必要デアリマスカラ、其點ニ付テ御考ヲ願ヒタイ、尙蠶絲業法中ノ命令ニ讓リタルコトニ付テ御尋ヲ致シマスノハ、此蠶種ノ手數料デアリマス、手數料ハ特別蠶種ガ一枚ニ付テ三錢、普通蠶種ガ一枚ニ付テ二錢トアル、曾テ手數料ト云フモノヲ取ツタコトモアルサウデアリマスガ、一枚ニ付テ三錢取ツタト云フ例ハナシ、大抵二錢以內デアツタモノヲ今回ハ特別蠶種一枚ニ付テ三錢普通二錢ト云フコトニナツテ居リマス、昨日デアリマシタカ、一昨日デアリマシタカ、靜岡縣ノ同業組合長カラ吾々ニ書面ヲ配付サレマシタ、ソレノ統計ハ農商務省ノ豫防法ノ成績カラ統計ヲ舉ゲテ春蠶ト夏秋蠶トノ區別ヲシタ蛾數ガ茲ニ出テ居ル、之ニ付テ凡ソ此手數料ノ特別蠶種一枚ニ付テ三錢普通蠶種一枚ニ付テ二錢ト云フコトニナリマス、全國ヲ通ジテドノ位ノ金額ニナル、又是ガ爲ニ手數料ト云フモノハ一種ノ蠶業ニ對スル租稅デアル、此蠶種ニ稅ヲ課シテ來ル、來タ結果ハ蠶絲ノ製造ハ總數デハナイガ、少クトモ此靜岡縣ノ同業組合長ノ統計デハ四十萬圓ニ上ルト云フコトデアリマスガ、果シテサウ云フ金額ニナルコトニナレバ蠶種製造業者ガ拂フニシテモ、結果全國ノ春蠶業ガ是ダケノ課稅ヲ受ケルコトニ歸著スル、此點ハ餘程此稅ヲ課スルト云フ手數料ヲ取ルコトニ付テモ、亦重イ輕イト云フコトニ付テモ、此緩急ニ付テモ、餘程考慮ヲシナケレバナラヌコト、思フノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ政府ノ所見及在來ノ調査ハドウ云フ風ニナツテ居ルデアリマスガ、モウ一ツ御尋ヲシタイノハ此二化性夏秋蠶デゴザイマス、夏秋蠶ハ在來政府當局者ハ此獎勵ニ餘リ努メナカッタ、然ルニ夏秋蠶ハ此輓近數年間ニ於キマシテ、非常ナル速力ヲ以テ發達シ、今ヤ多額ノ產額ヲ見ルデアリマス、之ガ爲ニ其取締是等ノ検査蠶病豫防法ノ施行ノ上ニ於テ、春蠶ハ御承知ノ通り一年蠶種デアリマスカラ、十分ニ此検査ヲスルコトガ出來ルデアリマス、二化性夏秋蠶ニ於キマシテハ種ヲ附ケナイ先ニ、直ニ檢印ヲシテ種ヲ附ケルト、直ニ其儘全國ニ配付スルコトニナツテ居リマスカラ、多クハ検査ト云フモノハ非常ニ急ヲ要スルコトデアツテ、愚圖々々シテ居ルト種ガ出テシマフト云フ憂ガアリマスカラ、隨分實際ノ取締ノ上ニ於テ困ツテ居ル、是等ニ付テノ蠶病豫防法及此蠶種ノ検査ニ付テハ、今後ドウ云フ風ニシテ之ヲ取締ル御見込デアリマスガ、又在來ノ實際カラ見ルト、全ク此検査總テノ取締ガ附イテ居リマセヌ、尙之ニ附加ヘテ申上ゲテ置キタイノハ、此夏秋蠶ノ盛シタル同時ニ各地方共ニ、殊ニ關東地方群馬埼玉東京府神奈川縣ナドガ最モ酷イガ、桑園ノ類敗、夏秋蠶ノアル爲ニ桑樹ヲ虐使スル、現ニ伊太利ノ「バイニー」氏ハ一昨年日本ニ來テ視察シタ結果、日本ノ養蠶ハ桑園ヲ虐使スルガ故ニ早晩桑園ノ苗ガ萎ヘテシマフト云フ演說ヲシタ、實際

是ハ「バイニー」氏ガ好イトコロニ著眼シテ歸ッダ、全ク今日ハ夏秋蠶ノ盛シナツタ結果、事實桑園ガ荒廢シテ居ル傾キガアル、是ニ付テヤハリ検査ト同様デ、將來當局者ハ如何ニ此桑園ヲ恢復スル御見込デアリマスカ、此桑園ヲ整理スレバ日本全體ニ於テ増シテ來ル、是ハ寧ロ——寧ロデハナイ今日ノ狀態デ見レバ桑園ガ荒レルト云フヤウナ傾キガナイデハナイカト思フ、先以テ是等ノ數點ニ對シテ御答ヲ得マシテ、尙其上デ一二御尋フ致シマス

○築山和一君 武藤君ノ第一問ノ中ニ附加ヘテ御尋ヲ致シマス、原々種ノ撰定ノ標準ノ質問デゴザイマスガ、選擇ノ際ニ付テハ「デニール」ト絲長回數ガ下ノ位回數ヲ以テ原々種ニスルト云フコト聞イテ置キマス

○政府委員(下岡忠治君) 御答致シマスガ、桑ニ付テハ施行法ニ命令ノ規定ガナ
イ、ツレハ何ヲ云フコトデアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、桑園ニ關スルコトニ付テハ法
令ヲ以テ束縛スルコトハ先ヅ當分ヤラナイト云フ考デアリマス、獎勵的ニヤル考デアリマ
ス、政府デ補助シ地方ニ於テモ補助ラシ、良イ苗木ヲ撰擇シテスルト云フ積リデアリマ
スケレドモ、差當リ法律命令ヲ以テ束縛シテ斯ウ云フヤウニセイト云フコトマデアルノハ、
ドウデアラウカト云フ考デ居ルノデゴザイマス、尤モ此苗木取締ニ關シテハ法律ナリ規則
ナリヲ設ケルガ宜イト云フ議論ガアリマス、ツレニ付テハ政府モ段々研究シマシタ、獨リ苗
木ハ桑苗ダケデハアリマセヌガ、殊ニ吾々ノ關係スルモノハ桑苗デアリマスカラ、段々ツレニ
付テ研究シテアリマシタガ、イロ／＼技術者ノ意見ナリ地方ノ人々ノ考ヲ綜合シテ唯今
考ヘテ居ルトコロデハ、規則ヲ拵ヘテモナカ／＼是ハ實行ガシニクイト云フコトニ歸著シマ
スカラ、先ヅ當分ハ苗木ノ取締ニ關スル法制ハ作ラヌ、併ナガラ良イモノヲ擴ガルヤウニ
スル工風ニ付テハ、何處マデモ獎勵的ニヤツテ見タイト云フコトニナツテ居リマスカラ、規
則デ之ヲ束縛スルコトハ先ヅ當分ヤラヌ、ドウシテモ弊害ガ多クテ且實行シ得ルト云ウ見
込ガ付ク場合ニ於テハ、或ハ何カ取締ニ關スル規則等ハ作リタイト云フ考デ、成案モ出
來テ居リマスガ、當分實行致シマセヌ、其他桑園ニ關スル事柄ニ付テ、命令デ直ニ之ヲ
束縛スルコトハ無理デアラウト思ヒマスカラ、當分規則ハ作ラヌト云フ考デゴザイマス、第
二三標準ニ據ラズト云フ成案ハ出來テ居リマセヌ、何レ詳細ナル調ヲ遂ゲタ上ニ、斯道ニ關
係アル當業者ナリ其他ノ專門家ニ寄ツテ貰ツテ、愈々政府ガ造ルトコロノモノハドウ云ウ
モノニシヤウト云フコトヲ決定致ス積リデゴザイマススケレドモ、マダソコマデ準備ガ整ウテ居
リマセヌ、併シ政府ノ見ルトコロハ比較的ニ優良種ヲ造ルトコトガ出來ルト思ヒマスシ、是
マデ府縣ノ共進會等二人ガ行ツテツレ／＼標準ヲ定メテ審査シテ居リマスルコトデモアリ
マスルカラ、ツレ等ニ依テ標準薩ヲ極メヤウト云フ考デゴザイマスガ、是等ニ付テハ專門ノ
者モ控ヘテ居リマスカラ、詳細ノコトハ其方カラ御答スルコトニ致シマス、ツレカラ第三ニ
ドレダケノ薩ヲ掃キ立テ、ドレダケノモノヲ造ル考デアルカト云フ點ニ付キマシテハ、本場一
箇所、支場四箇所、四十五年カラ一箇所殖エルコトニナツテ居リマスガ、春鷺ハ原々種
ノ十分ノ一ヲ造ルトニナツテ居リマスカラ、本場及支場ヲ總計シテ掃キ立テル量ハ百七
十五匁、其收薩額ガ四十三石七斗五升其中ニ王薩下薩不具薩ガアリマス、ツレガ二
十四石六升ノ豫定デス、隨ツテ製種ニ供給スベキ種薩ガ十九石六斗九升是ニ依ツテ得

ル收蘭ノ顆數が一升ニ付テ二百七十顆ト見テ、ソレガ五十三万六千三百三十顆、ソレニ依テ造ルモノガ全國ノ現在春蠶トシテヤツテ居ルコロノ原々種十分ノ一位ニ當ルノデス、併シ此中ニハ餘程安全ニ見積ッテアリマスカラ、確カ二十分ノ一以上ノモノガ出來ルニ違ヒナイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、普通カラ申シマスルト一枚ノ原々種ヲ以テ原種ヲ、三十二枚三分造ルノガ普通ニナツテ居リマス、所ガ極ク安全ニ見積ッテアリマスカラ一枚ノ原々種デ二十二枚二分ノ原種ヲ作ル、ソレカラ原々種一枚カラ原々種ヲ十六枚六分作ルコトニナツテ居リマスガ、極ク安全ニ見積ッテ原々種一枚カラ原々種ヲ十二枚八分ヲ拵ヘル豫定ニナツテ居リマス、是ハ極ク撰擇シテ眞イ繭ヲ作ル見込デアリマスカラ、普通營業者ノ見ルトコロヨリモ少クナツテ居リマス、此位ノ割合デヤレバ撰擇ニ撰擇ヲ重ネタ良イモノガ出來マス、之ヲ地方ニ配布スルコトニスレバ隨ッテソレカラ出來ル子ヤ孫ハ、比較的良イモノガ出來ルダラウト云フ極ク安全率ヲ以テ造ル積リデアリマス、尙詳シイコトハ書イタモノガアリマスカラ、之ヲ差上ゲマセウ、ソレカラ桑園ノ方ハ是ハ各支場ヲ約九町歩位ノ見積リデアリマスガ、是ハ蠶ヲ飼養スルモノニ對シテソレダケニ要スルト云フ九町歩デアリマセヌ、桑ノ試験モヤル積リデアリマスノデ、百七十五匁ヲ捕ク蛾ニ對シテ一支場毎ニ九町歩要スルト云フ譯デアリマセヌカラ、ソレハ果シテドレ位ノ桑ヲ使ッテ宜イカト云フコトハ、是ハ亦試験ノ一ツノ材料ニナリマスカラサウ云フ試験ヲシ、先ヅソレデ桑ヲ植エテ見テ、ドウ云フ桑ヲ植エレバ斯ウ云フ成績ガアル、斯ウ云フ桑ヲ植エレバ斯ウト云フ試験ヲサセル積リデアリマス、殊ニ各支場ニ付テハ種類試験ガ多イノデス、イロクノノ種類ノモノヲ拵合ハセテドウ變化スルカ、其變化ヲ見タイト云フ考デゴザイマス、隨ッテ各支場毎ニ九町歩ト云フノハ、原々種ヲ造ルガタメニソレダケ要ルト云フコトデハアリマセヌ、サウ御承知ヲ願ヒマス、其次ニハ手数料ノ問題デスガ、是ハ丁度唯今御話ノ通りニ約四十万圓上ガルトコトニナツテ居リマス、框製デ二錢平附デ二錢ニスルノガ高過ギハシナイカ、一般ノ負擔トシテ重過ギハシナイカト云フ御懸念ガアルヤデアリマスガ、是ハ程度問題デアリマスガ、此前ニ手数料ヲ徴收シテ居ッタ時分ノ規定ハ、ドウ云フコトヲシテ居ッタカト云ヘバ、蠶種検査ニ關スル手数料ノ件ト云フ勅令ガ出テ居リマス、ソレニ依リマスト原種ガ一枚ニ付テ五錢六厘ト云フコトガ最高限度ニナツテ居リマス、ソレカラ製絲用種ガ一枚ニ付テ三錢以内其範圍内ニ於テ各縣々ガ縣會ノ決議ヲ經テ之ヲ執行スルコトニナツテ居リマスガ、所ニ依ルト割合ニ高イ處モアリ、所ニ依ルト其範圍内デ低イモノヲ取ツテ居ッタ例モアリマスガ、先ヅ三錢ト二錢ト云フ位ニスレバ大シタ苦痛ハナカラウト云フ考ヲ持ッテ居リマス、之ヲ何錢以内ト云フコトニスレバ一番宜イヤウデアリマスガ、サウスレバ甲ノ縣デアツテ居ル乙ノ縣デハ取ラヌ、甲ノ縣デハ最高額ヲ取ル乙ノ縣デハ非常ナ低イモノヲ取ル、斯ウ云フコトニナリマス、蠶種ハ共通ノモノデアルニ拘ハラズ蠶種製造家ガ縣ノ異ナルガタメニ負擔スルトコロガ違フコトニナツテ不公平ニナリマス、之ヲ平等ニ負擔ヲサセマセヌト、實際ニ非常ニ困ルト云フ論ノタメニ、何錢以内ト云フ規定ニシナイデ何程ト云フコトニ極メルコトニシナイト面白クナイ、サウスレバ今ノヤウニ二錢ト一錢位ノトコロハ蠶種製造家ノ堪ヘ難キ負擔ニアラズシテ、而モ何處デヤツテモ其苦痛ヲ感セヌ程度ニ依ッテヤツテ行ケルデアラウト云フ考カラ其位ニシタノデアリマス、ソレカラ第五ニ夏秋蠶ノ點ニ付テ御尋デアリマスガ、是ハ實ハ政府ガ餘程苦心ヲシテ居ル點デアリマシテ、今武

藤サシノ御尋ニ付テハ確ニ政府ニ於テモ最モ考慮ヲ要スル點ト考ヘテ居ルノデゴザイマ
ス、不越年種ニ付テハ俄ニアレハ、短期間ニアノ煩雜ヲ檢査フ遂ゲヤウトニ云フノデアリマス
カラ、隨分是ハ苦シイ、何トカ之ニ付テモウ少シ手數ヲ省ク方法トカ簡易ニヤル方法ガ
無イカト云フコトニ付テ、イロ／＼研究ヲ重テ居リマスガ、唯今ノトコロ他ニ方法ガ無
イカラ先アアレヤラウト云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、先日來度々申シテ居リマス
蠶病豫防法ニ關スル政府ノ施設ニ付テ、從前トハ變ラナイ、相當ニ成功シテ居ルガ完
全トハ云ヘナイ、缺點ガアルト申スハ殊ニ此點ニアリマス、夏秋蠶不越年種ヲ僅ノ間
ニス／＼檢査スルコトハ、不完全ヲ檢査ガ行ハレテ非常ナ手數ヲ掛ケルニ拘ハラズ効
果ガ少ナイコトハ吾モ認メテ居ルノデゴザイマシテ、何トカ此點ニ付テモト簡略ナ方
法ヲ取ルカ何トカシナケレバナラヌト云フコトハ常ニ考ヘテ居リマスケレドモ、前申シテ通リ
差當リ技術上ノ上カラ考ヘテ、他ニ名案ガナイカラ據所ナク此方法ヲ取テ居リマスガ、
此點ニ付テ尙調査ヲ怠ラズ改良スベキ點ニ付テハ十分ヤッテ往キタイト考ヘテ居リマス、
御説ノ通り夏秋蠶ハ將來發達シテ往ク狀況デアル、日本農業ノ現今ノ農狀カラ云ッテ、
夏秋蠶ガ進ムコトハ適切ト思ヒマスカラ、此夏秋蠶ニ對スル病毒ノ撲滅或ハ種類ノ改
良ニ付テ、秋蠶ト共ニ力ヲ盡サナケレバナラヌト云フ考デアリマスカラ、右ノ點ニ付テ將來
出來ルダケノ改良ニ注意スル考デアリマス、ソレカラ夏秋蠶ノ盛ナルニ伴ッテ桑園ガ荒廢
シテ困ル、此點ニ付テ政府ハドウ云フ考ヲ探ッテ居ルカ、之ニ付テハヤリ唯今御尋ノ御
懸念ノ點ト同ジヤウナ懸念ヲ有ッテ居リマシテ、前回ニ申シマシタ通り此桑園ノ増設改
良ト云フコトニ付テハ、將來寧ロ増設ヨリ改良ノ方ニ力ヲ入レタイ、改良ノ方ニ力ヲ入
レルコトハドウスルカト云フ、苗ヲ改良スルコト云フコトモ必要ダガ、寧ロ夏秋蠶專有ノ
桑園ヲ造ルコトニ是カラ注意シタ方ガ宜カラウト云フコトニ付テ、夏秋蠶專有桑園ノ普
及ニ力ヲ入レタラ宜カラウト云フ考デアリマスガ、是ハモウ當業者ノ經濟問題ト關係ヲ
持ッテ居リマスカラ、之ヲ造ルニシテモサウ云フコトニシレバ引合ハヌト普及スルコトガ出來
マセヌガ、ヤリヤウニ依レバ專有桑園ヲ造ッテモ確カニ算盤ノ取レル見込ガ著クノト、目前
ノ利益ニノミ走ルト、數年經ツト屹度惡イコトヲ知ルヤウニナルカラ、ツイサウ云フコトヲ
知ラス人々ニ、サウ云フコトヲシタナラバ桑園ハ荒廢シテ非常ナ不利益ヲ被ルモノダト云
フコトヲ能ク知ラシメルナラバ、追々專有桑園ガ出來テ來ルダラウト云フ考ヲ持ッテ居リマ
ス、是モ法律デドウスル規則デドウスルコトニハ參リマセヌカラ、是非共桑園ヲ夏
秋蠶普及ノタメニ荒廢セシムルコトノナイヤウニ、出來ルダケノ注意ヲ拂ヒタイ考デアリ
マス

○武藤金吉君 チョット唯今築山君カラモ御尋ガアリマシタガ、マダ御答ガナイヤウデスカ
ラ伺ッテ置キタイ、種繭ノ撰定ニ付キマシテ第八條ニモ舉ゲテゴザイマスケレドモ、其以外
ニ政府ハ繭ノ撰定方ヲ殊ニ「デニール」強力ニ付テ御尋ガアリマシタガ、尙私ハ形ナドニ付
テ承ッテ置キタイ、由來日本ノ共進會品評會デハ、一寸一分ニ限ルトカ、繭ノ形ハ中ガク
リ込メテ居ラナケレバ本統ノ纖維デナイト云フノデ、纖維光澤ニ付テ總テ注意サレルノハ
當然デアリマスケレドモ、ドウモ日本ノ繭ハ繭ヲ飾リ物ニスル風ガアッテ、纖維ニ重キヲ置
カヌ風ガアリマスガ、將來繭絲即チ製繭ノ統一整理ヲスルコト云フコトハ、言葉ヲ換ヘテ
言ハハ絲ヲ良クスル、絲ヲ統一スル繭ヲ揃ヘルト云フコトカラ繭絲統一ノ問題モ起ッテ、

斯様ナ法案ガ出ルコトニナリマシタガ、此八條ニ舉ゲテアル如キハ誠ニ分リ切ッタ話デ、此
八條ハ前ノ蠶病豫防法案カラ一化性ニアルテハ十ノモノヲ十一ニ上ゲ、二化性ニ在リテ
ハ、七ノモノヲ八ニ上ゲ、多化性ニ在リテハ六ノモノヲ七ニ上ゲルダケノコトデアリマスガ、是
等ノ點ニ付テハ在來ノ農商務省ニ於テ方針ヲ一變スルト云ハヌデモ、擴張ト共ニ改良
ノ方針ヲ取ッテ、此目的ニ副フヤウニ御遣リニナルデアリマスガ、若クハ在來ノ通リ繭ハ
在來デモ其通りヤッテ居ルカラヤルト云フノデアリマスガ、チョット築山君カラ御尋ガアリマ
シタカラ、此點ニ付キマシテ政府デ腹藏ナク御考ヲ、ドウ云フ方針デヤルト云フコトヲ御
答ヲ願ヒタイ

○農商務技師(芳賀權四郎君) 御答致シマス、實ハ一昨年蠶絲統一ノ問題ニ付キ
マシテ大日本蠶絲會ニ諮問ヲシマシタ節、各地ノ製絲家或ハ製種家アタリノ意見モア
リマシタガ、其際長サニ對スル寸法ハドノ位圓ミノ寸法ガドノ位圓ミハドノ位、纖維ノ太
サガドノ位、或ハ絲ノ長サガドノ位ト云フ標準ヲ出サレタ向ガ澤山アッテデアリマスガ、
其際ニ議論ガマダ一定シテ居リマセヌ、ソレハ太絲ヲ引イテ居ル地方ノ製絲家ト細絲ヲ
引イテ居ル地方ノ製絲家ノ意見ガ一致スル譯ガアリマセヌ、何トナレバ太絲ハ多クハ十
四ヲ目的トシテ居ル、其十四ノ絲ヲ引クニハ「デニール」カラ三「デニール」ノ間ノモノヲ
好ムニ相違ナイ、細絲ヲ引ク地方ニアリテハ「デニール」ハ或ハ三「デニール」ト云フノガ
絲ニナリマス引キ惡イ、是ハ申スマデモアリマセヌ、ナゼナレバ十四「デニール」ノ絲ヲ引ク
ノハ「デニール」ハ八ノ繭ナレバ五粒付デ丁度都合ガ好ク引ケマスガ、細絲ニナリマス繭
ノ纖維ガ太イト引キ惡イハ當然デアリマス、故ニ生絲ノ纖維度ガ太絲、中細、及細絲ヲ
引ク地方ノ製絲家ニ依ッテ、或ハ繭其物ノ纖維ノ太細ガ自カラ分レテ來ルデアリマス
カラ、此際ノ製絲家ノ意見ガ一致シナカッタノハ無理ノナイ話デアリマス、從ッテ此纖維
ヲ幾カラ幾ラマデト云フコトヲ極メルコトハ、隨分困難ナ注文デアリマスガ、併ナガラ太
絲向キノモノハ必ズ細太ニ引ケヌカト云ヘバ、御承知ノ通り何レノ繭デモ細イ部分ト太
イ部分トガアリマスカラ、其絲ヲ細イ所ト太イトコロヲ官ク繋ギ合セマスカラ、相當ノ目的
ノ絲ガ大抵ノ繭ナラ引ケル譯デアリマス、併ナガラ是ガ工女ノ技術ニ待タナケレバナラヌ
デアリマスカラ、工女ノ技術ヲ進メナケレバナラヌノデ、繭ノ纖維度ダケガ揃ヒマシテモ、工女
ノ技術ガ拙劣ナレバ生絲ノ纖維度ガ揃ヒマセヌ、要スルニ繭ノ形纖維ノ細太及絲長ノ標
準ノ如キハ、是ハ勿論地方々々ノ製絲家ノ立場ニ依テ變ラウト思ヒマスガ、是ハ本省
トシテハドウ云フ案ヲ持ッテ居ルト云フコトハ明言ハ出來マセヌガ、是ハ慎重ニ審議ヲ致
シマシテ、中央ニモ幸ニ調査委員ト云フモノヲ置クコトニナッテ居リマスカラ、其調査委員
ノ意見ヲ徵シ、又原蠶種製造所十分ナ試驗ヲ致ス考デアル、長サハドノ位九サハ幾
ラデアルデ、ソレカラ回数ハ何回纖維ハ幾「デニール」カラ幾「デニール」マデト云フ具體的ノ
案ハ持ッテ居ラナイ、是ハ慎重ニ調査モシ又委員等ノ審議ヲ經マシテ定メル考デアリマ
ス、併ナガラ兎ニ角サウ云フ標準ハ少クモ府縣ニハ示ス積リデアリマス、其時期ハ一年
ノ後カ二年ノ後ニ示サル、カチョット此處デ御答シ兼ネマスガ、兎ニ角府縣ニ據ルベキ標
準ヲ示ス考デアリマス、左様御承知ヲ

○村上先君 チョット伺ヒマスガ、此蠶絲業法案ノ大體ヲ見マスルト、大分地方分權
的ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ或程度マデハ至極結構ナコトト思ヒマス、就キマシ

テハ地方ニ於ケル蠶業ノ知識ガ如何ニ普及セラレツ、アルカト云フコトガ、茲ニ問題ニ
ナッテ居リマス、ソレデ蠶業知識ノ機關ト云ヘバ學校講習所傳習所試驗場ト云フモノ
ガ、所謂蠶業ノ知識ヲ作ル處デアリマス、然ルニ學校ガ文部省ノ管轄デゴザイマスルカ
ラ、直接農商務省ニハ關係アリマスミト思ヒマスケレドモ、學校ト蠶業トノ關係ハ非常
ニ密接ノ關係ヲ有ッテ居リマスルカラ、農商務省ガ假令其學校ガ文部省所管デアリマシ
テモ、此點ニ付テハ既ニ御注意ニナッテ居ルコト、考ヘマスカラ之ヲ伺ヒタイ、其伺ヒマ理由ハ
明治四十一年ノ統計ニ依リマスルコト、地方ノ蠶業學校ナルモノハ一府二十六縣ニ互リ
マシテ、四十校出來テ居リマス、此學校ノ卒業生ガ地方ノ蠶業ニ如何ニ利用セラレツ
ツアルカ、又如何ナル貢獻ヲ爲シツ、アルカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラ農商務省
ノ此蠶業發達及改善ニ關スル件ト云フ印刷物ノ中デ、方針及施設要項ノ第二項ヲ
見マスルト「養蠶農家ノ副業トシテ經營セシムルノ方針ヲ失ハスシテ小規模ノ飼育戸數
ノ増加ヲ圖ルコト」ト斯ウ云フコトガアリマスガ、私ハ豫テ養蠶學校ヲ管理監督致シタコ
トガアリマスルガ、ドウモ養蠶學校ハ智識ヲ養成スルコトヲ點ニ付テハ固ヨリ有益デア
リマスケレドモ、小規模ノ地方ノ農家ノ副業トシテ小サイ飼育ヲ教ヘル場合ニ、其養
蠶學校ノ教育シタコロモノヲ實地ニ應用シマスルコト、免角好成績ヲ舉ゲルコトノ
出來ナイヤウナ經驗ヲ有ッテ居リマス、譬ヘ申シマスレバ唯今簡易養蠶學校ガアッテ、其
學校ノ養蠶ノ成績蠶種製造ノ成績トシテハ、非常ナル好成绩ヲ舉ゲテ居ル、併シ之ヲ
實地ニモッテ行ッテ之ヲ應用スルト一向效能ガナシ、ト云フハ成程學校ニ於キマシテハ、
一向ニ經濟ニ關係シマセヌデ、例ヘバ生徒ハ無報酬デ使フ、其他桑園デモ何デモ有ユル
金ヲ掛ケテ有ユル設備ヲ致シテ居ルカラ、最も完全ナル方法ヲ以テ飼育ガ出來ル、又蠶
種ノ製造モ出來ル、從ッテ其養蠶、其養蠶ノ製造ノ成績ガ舉リマスケレドモ、之ヲ小サ
イ農家ニ持ッテ參リマスルト、到底學校ノヤウナ設備モ出來マセズ、又學校ノヤウニ自由
勝手ニ金ヲ使フコトモ出來マセヌカラ、其結果ハ好クナシト云フコトニ歸著致シマス、ソレ
デ唯今ノ地方ノ養蠶學校ナルモノ、成績ハ、實地ニ應用致シマシテ如何ナル狀態デア
ルカ、其生徒ナルモノハ地方ノ養蠶ノ實際ニ對シテハ如何ナル貢獻ヲナシツ、アルカト云
フコトヲ一ツ伺ヒマス、ソレカラ其次ニハ農商務省ノ所管ニカ、ルトコロノ講習所ニ付テ伺
ヒマス、講習所ナルモノハヤハリ四十一年ノ統計ニ依リマスルコト、一道二府二十九縣
ニ互リマシテ、八十三箇所アリマス、其講習所ガ——此所ニ參考書ガアリマセヌデ能ク
分リマセヌガ、是ハ殆ド簡易學校同様な仕事ヲシテ居ルコトヲラウト思ヒマスルガ、
果シテ簡易學校同様な仕事ヲシテ居リマスレバ、ヤハリ其結果ハ學校ト同ジク實地ニ
應用ノ點ニ付テ遺憾ノ點ガ多クハナイカ、此點ニ付テモ伺ヒタイ、其次ハ傳習所是モヤ
ハリ蠶業知識ノ養成機關ノ一ツデアリマシテ、是ハ十六縣七十七箇所ニゴザイマス、此
傳習所ナルモノモ其成績ハドウデアアルカ、其次ニハ試驗場是ハ五縣五箇所アリマス、其
試驗場ナルモノモ或意味ニ於ケル知識ノ養成所デアル、是モ無論實地ハ密接ノ關係ヲ
有ッテ居ルモノデアアル、此成績ハドウデアアルカ、斯ク御問申シタナラバ農商務省ノ總テ好
成績ヲ舉ゲテ居ルト云フ御答ガアルカモ知レナイガ、ソレデハアマリ完全過ギテ却テ吾々ハ
疑ヲ起シマスカラ、成ベク實際狀況ヲ包ミ隠サズニ、ドウカ明瞭ナル御答辯アラントコ
トヲ希望致シマス

○委員長(野田卯太郎君) チョット申シテ置キマスガ、大臣ハ今日ハ貴族院ノ豫算會
ニ臨ンデ居ルサウデスカラ、此處ニ御出席ハゴザイマセヌ
○政府委員(下岡忠治君) 唯今村上サシノ御尋ノ學校ナリ講習所ナリ傳習所ナリ
ノ成績如何ト云フコトデアリマスガ、有體ニ申上ゲマス、ドウモ理窟ニ馳セルト云フ傾向
ハ確ニアルノデス、之ヲ實際ニモッテ行クトカシナコトヲヤルト云フノハ、獨リ是ハ蠶業事
業ニ關係スルコトバカリデナク、實業ニ關スル各種ノ教育設備ニ於テモサウ云フ弊ガ多
イデアリマス、是ハ餘程注意ヲ要スル點デアラウト考ヘテ居リマスルガ、併シソレデハ一向
間ニ合ハヌカト申シマスルコト、二三年ハ實地ニ應用シテ見テモ一向頓珍漢ノコトヲヤ
困ルト云フコトガアッタガ、二三年經ッテヤルトヤハリ素養ノアルトコロモノハ堅實ニ仕事
ガ出來ルト云フコトハ爭ハレナイコトヲラウト思ヒマス、ケレドモ是ハ教育ノヤリ方ハ文部
省ノ關係モゴザイマスカラ、農商務省ノ所管ニ屬シテ居ラヌコトヲ私カラ申ス限リデハア
リマセヌガ、實地ニ疎イト云フコトハ免レヌヤウデアアル、當局ノ文部大臣モ此點ニ付テハ
御注意ニナッテ居ルヤウデゴザイマス、現ニ文部大臣ハ實業教育ニ注意ヲ拂フコトヲ御
方針デアラデスガ、兎角學校教育ハ形ニ流レテ蠶業ノ發達ヲ圖ルタメノ實地ニ必要ナル
知識ヲ教ヘルト云フコトガ、理論ニ馳セテ應用ノ際ニ於テハ、學問シタ者ハ駄目ダト云
フコトヲ一般ノ人ニ唱ヘラレラユウデハ、何ノタメニ學問シテ居ルカ分ラヌカラ、此點ニ力
ヲ入レヌナラヌト云フ方針デヤッテ居リマス、農商務ノ側カラ考ヘマシテモ、極ク卑近ナヤ
方ニシテヤッテ貫ヒタイト云フコトハ、常ニ希望シテ居ルノミナラズ、實際講習所デヤッ
テ居リマスノハドツチカト云フト、寧ろ學問ヨリハ實地ニ近イコトヲヤッテ居ル、現ニ西分原
ノ講習所デモヤッテ居ルコトハ、實體ヲ考ヘテ見ルト講習所ト云フ名デアルケレドモ、教育
ヲスル所ニ違ヒナイデアリマス、ケレドモアレハ成ベク實際的ノ教育ヲ施ス極ク應用的
教育ヲ施シテ、社會ニ出ルナラバ直チニ實業ニ從事スルコトノ出來ルヤウニシヤウト云
考デ、一般ノ教育トハ少シ趣ガ違テ居リマス、餘リ高尚ナコトヲヤラヌト云フコトニナッ
テ居リマス、學校ナリ講習所ナリ卒業シタ者ヲ以テ、實地ヤラセル上ニ付キマシテモ、此小
農家ノ副業ノタメニ使フ人間ヲ養成スルコト云フコトガ眼目デアアルカト申シマスルコト、少
違ヒガアル、極ク小農家ガ三斗五斗ヲ副業的ニ飼育スルニ付キマシテハ、寧ろモウ一番
程度ノ低イ實業補習學校ナリ、或ハ高等小學校ノ一科トシテ、サウ云フコトヲ教ヘルト
云フヤリ方ニスル方ガ宜イダラウ、ソレ以上ノ甲種程度ノ學校ニ當ル位ノモノハ、マアソレ
ヲ監督スル教師デアルトカ技術者デアルトカ云フモノ、位地ニアル、之ヲ相當ナ教育ヲ受
ケテ歸ッテ來テ、極ク小サナ農家デ僅カノ養蠶業ヲヤルニシテハ、少シ教育ノ程度ガ高過
ギマスカラ、サウ云フ程度ノモノハサウ云フ程度デ、所謂乙種學校程度ノ者ガ愾マルノ
デ甲種程度位ニナルト、其一段上ニ居ル監督者或ハ指導者ヲ養成スル目的ヲ以テ進
ンデ行ク必要ガアルノデアリマス、外國デモ聞キマスルコトコロニ據ルト、高等小學校アタリ
ニ養蠶科ヲ特ニ入レテ、養蠶業ノ普及ヲ圖ルト云フコトヲ考ヘテ居ルト云フコトヲ聞イテ
居リマスガ、日本デモドウシテモ養蠶業ノ進ムニ從デハ、其地方ニ於テ高等小學校位ノ
程度ニ於テ、養蠶ノ思想ヲ與ヘルコトガ必要デアラウト云フ考ヲ持ッテ居リマス、尙養蠶
業ヲ副業ニシタイト云フコトニ付テハ、是ハ養蠶ヲ待タヌコトデアリマスガ、ドウシテモ日本
ノ農家ノ狀態ヨリ言ッテ見マスルコト、專業のニヤルヨリ副業的のニヤル、今日養蠶家ノ餘

リ盛シテナイ地方デモ、農家ノ副業トシテヤルコトガ出來ル、全國到ルトコロ副業ノナイ場所ハナイ位デアリマスカラ、ズット廣クシタイ、サウスル蠶業教育ヲ廣クスル必要ガアリマスカラ一方ニ於テハ少シク程度ノ高イ學校ナリ講習ナリヲヤル以外ニ極ク國民一般ニ渉ル教育ヲスル必要ガアラウ、此點ニ於テハ文部省トモ交渉シテ、其事ノ成立スルコトニシタイ考デアリマス

○村上先君 申スマデモナク無論其御施設ニナリマセウと思ヒマスガ、成程今日ノ教育ノ趨勢ヲ考ヘテ見マスルト、所謂子弟訓ガアテ父兄訓ガナイ、且原益軒ガサウ云フ話ヲシテ居ル、子弟訓モ必要アルガ父兄訓モ必要アルト云フコトヲ申シテ居リマスガ、今ノ此小供ダケノ教育デハ此過渡ノ際ニ於テ智識ヲ應用シテ實業ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ甚ダ困難ナル、而シテ先年私ガ此農學校ヲ經營シ致シマスルトキニ、唯今死ナレマシタ木下博士ガ當時專門學ノ局長デアッテ、茨城縣ノ農學校ヲ巡視ニ行ツタコトガアル、其時校長ガ今日ハ生徒ガ御迎ヒニ出マスルコトヲ前以テ報知ガアッテ、ツレカラ縣界ニ行ツテ見ルト赤毛布ヲ來タ老人ガ澤山出テ來タ、二百人程——ドウモ生徒ガ見エズニ老人ガ澤山來テ居ルノデ、ドウ云フ者デ斯ウ云フモノガ迎ヘニ來タカト云フコトヲ聽イテ見タラバ、是ハ私ノ方ノ生徒デアルト云フコトヲ聽イテ驚イテ、生徒ニシテハ餘リ老人過ギハシナイカト云フコトヲ聽イタコトガ、ドウシテモ父兄ヲ教育シナケレバ、今過渡ノ際ニ於テハ教育ヲ實地應用スルコトハ出來ナイ、ソレデ茨城縣ノ簡易學校ニ於テハ、此年齡ニ拘ラズ父兄ニ入學ヲサセテ、サウシテ農業ノ實地ニ應用ノ出來ル、所謂且學ビ且行フト云フ方針ヲ執リ積リデアルト云フコトヲ聽イテ、大ニ感心シタト云フコトヲ木下博士カラ聽イタコトガアリマスガ、此農商務主管ニ係ル講習所傳習所ノ如キモノハ、無論年齡ニ拘ラズ老人デモ何デモ此傳習又ハ講習ナサル、御方針デアラウト思ヒマスケレドモ、念ノタメ伺ツテ置キマス

○政府委員(下岡忠治君) 講習所ナドデハ稍々年ノ行ツタ者モ大分入ツテ居リマス、併シ農學校ヘ年齡ノ高イモノヲ入レルト云フコトハ、少シ無理デスガ、講習所デハ大分ゴザイマス、農事講習所ナリ或ハ蠶業ニ關スル講習所ト云ウヤウナモノニハ、年齡ニ付テハ制限シテ居ル所モアリマスケレドモ、先ヅ是マデト云フコトニシテ、別科的ノ教育モ隨分施シテ居リマスカラ、地方ニ依レバサウ云フモノヲ入レル例ハ澤山アリマス、御説ノ通りサウ云フ人々ニ對スル教育ト云フコトモ餘程必要デアラウ爲ニ彼ノ學校以外ニ農事講習所ト云フモノガ出來テ居ルノデ

○村上先君 チョットモウ一ツ伺ヒマス、此蠶病豫防ニ從事シテ居リマス技手デスガ、是ハ大抵地方ノ蠶蠶學校若クハ講習所傳習所出身ノ人ガ多カラウト思ハレマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(下岡忠治君) 其通りデゴザイマス、之ニ其統計ナドモゴザイマスガ、御用ガアレバ後デ差上ケマス

○武藤金吉君 チョット私ハ審査ノ進行ニ付テ意見ガアリマス、私ハ先刻委員長マデ農商務大臣及商務局長ノ御出席ヲ促シタデアリマスガ、此蠶絲業法ニ付キマシテ未ダ曾テ商務局長ガ御顔出シガナイ、デ元來此蠶絲法案ヲ審議スルニ當ッテハ、海外貿易ノ發展ト伴ウテ居リマスルシ、唯今私ガ御尋ラシマスレバ、是ハ其絲ガ賣レルノニ準シ

テ此種ヲ造ラヌナラヌ、然ルニ商務局長ハ知ラザルガ如クシテ、一遍モ顔出シヲシナイト云フヤウナコトデハ、私ハ此實ニ大切ノ法案ヲ議スルニ其ノ本末ヲ忘レテヤ居ナイカト思ヒマス、デ是ハ種ノ方ノコトダケヲ議スルニハ農務局長技術官デモ宜ウゴザリマスケレドモ、此全體ニ關係シテ居ル蠶絲法デアリマスカラ、商務局長ガ一遍モ出ナイト云フノハ、農商務ヲ御忘ニナツタカト思ヒマスカラ、速ニ御出席ヲ願フコトニ——此種ヲ造ルト云フコトニ付テ今日生絲ノ貿易ノ趨勢ハドウナッテ居ルカト云フコトモ伺ハナケレバ、此案ハ議セハセヌ、ドウカ委員長カラ御出席ニナルヤウニ、尙更メテ申上ゲテ置キマス

○委員長(野田卯太郎君) 請求シテ置キマシタ

○久保田與四郎君 私ノ質問ハ統一ノ法律案ニ付テノ質問デナイ、是ガ實施上ニ付テ種々ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、先刻武藤君カラノ御質問ニ、尙築山君カラノ御質問ガアリマスガ、此蠶種統一ニ付テハ、其種ノ撰定ト云フコトハ政府ニ於テハ既ニ確信アリト信ズルノデアル、一昨日ノ政府委員ノ御答ニ依リマスルト、明年カラハ既ニ配布スル豫定デアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、今日伺ヒマスルト未ダ其種ト云フモノハ撰定シナイ、併シ此地方ノ共進會トカ審査會トカ云フヤウナモノデ撰定シタ其種ヲ撰シテ、何レ研究ノ上ニ撰定スル積リダ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、明年既ニ或部分配布セラル、御確信ガアルニモ拘ラズ、今日其種撰定ハ研究シテナイト云フコトニ付テハ、明年配布ト云フコトハ出來ナイ、縱シ明年配布ナスツテモ、直グニ明年ノ飼育ニト云フ譯ニ行キマセヌカラ、明年配布ナサルノハ明後年ノ飼育ト云フコトニナル、或ハ又今年ノ内ニ今ノ御話ノ十分ノ研究ハ遂ゲテ居ラヌ、何レ明年配布スルト云フコトハ、此間ニ信任ヲ置キ難イヤウニ考ヘマスガ故ニ、一昨日明年ニモ配布ナサルト云フ御準備ニ付テハ、今日マダ其種ノ御撰定ハナイト云フコトデアッテ、甚ダ前後矛盾シヤシナイカト思ヒマス、此點ニ對スル御確信ヲ伺ヒタイ、次ニ村上君カラ唯今教育ノ事ニ付テノ御質問ガアリマスガ、是ハ實ニ御尤モデ、私ハヤハリソレニ關聯シテ他ノ方面カラ質問シテ見タイ「蠶絲業ノ發達及改善ニ關スル件」トシテ農商務省カラ御發シニナリマスガ、考書ガアリマス、此最初ノ「方針及施設要項」ト題シテ二番目ニ小規模ノ飼育戸數ノ増加ヲ計ルト云フコトハ、是ハ無論副業ト云フ主義ハ政府ノ最モ執ラル、主義デアッテ、サウナケレバナラヌト思ヒマス、併ナガラ政府ニ於テハ既ニ農業ノ副業トシテ經營セシムル方針デ、小規模ノ飼育戸數ノ増加ヲ計ルト云フコトヲ、既ニ御方針ニシテ御極メニナッテ、之ニ關スル教育ハ唯今ノ御質問ニ答辯モアリマスガ、併ナガラ此印刷物ノ文章ノ點カラ見マシテモ、小規模ノ飼育戸數ノ増加ヲ計ルト云フ御計畫ニナツタバカリデ、是ハ計ルバカリデ將來計ル積リデアルノデアリマスガ、ソレトモ蠶絲業統一ト云フコトノ大計畫ヲ立テルニ付テハ、最モ蠶絲業發達ノ要點デアリマセウケレドモ、併シ此小規模ノ飼育戸數ノ増加ト云フコトハ、ソレヨリモウ一層大切ナコトデアラウ、今御話ノ百六十萬石ト云フノヲ三百萬石、倍ニモスルニハ無論小規模ノ戸數ノ増加ヲ計ルト云フ御決心ハ十分御決定ニナッテ、著々其方針ヲ御進ニナラナケレバナラヌト信ズル、然ルニ此大切ナル事柄ニ付テ御方針ヲ實行スベキ計畫ハ、一モ知ルトコロガナイノデアリマスガ、此邊ニ對スル御計畫ハ存スル譯デアリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラヤハリ同ジ項目デ第一ノ方ニ返リマシテ申上ケマスガ、平均繭ノ數ハ年々十五萬石バカリヲ以テ

相當ト認ムルアリマスガ、認ムルト云フデケテ、年々十五万石増加セシムル方針デア
トハ書イテナイガ、要スルニ政府ハ年々十五万石ノ増加ヲ計ルト云フコトモ、相當ノ御
計畫ガアルカノヤウニ思ヒマスガ、併ナガラ此邊ニ付テ何等カノ御考ガナイノデアリマス
カ、ソレカラ又ヤハリ其種撰定ニ關スル問デアリマスガ、ヤハリ此參考書トシテ御廻シ下サイ
マシタ「世界ノ蠶絲業並ニ人造絹絲業」斯ウ云フ題目ノ下ニ於テ御配布ニナリマシタ
トコロヲ見ルト、所謂蠶ノ種子此七頁ノ終カラ八頁ヘカケマシテ、支那ニ於キマシテ餘
程其種ガアル、此其種ノ種子ガアツテ品質モ餘程優良ニシテ、サウシテ佳良ナルコト幾
他ニ類ヲ見ザルガ如キ蠶種ガ支那ニアル、斯ウ云フ位ノコトデアリマスレバ、此邊ノ種子
ト云フモノヲ我邦ニ移シテ、サウシテ十分ノ研究ヲ遂ゲベキ價ガアルト思ヒマス、サレバ支
那ノ如キ所謂其種ト農商務省ガ御認メニナツタ種子ヲ取寄セテ、而カモ十分研究シテ、
サウシテ尙且優良ナル上ニモ優良ナルモノヲ選擇シナケレバナラヌコトデアリマスガ、先キニ
申シマスガ如ク既ニ明年ニモ配布スルコト云フナラバ、人ノ拵ヘタモノヲ配布シナケレバナ
ラヌ、政府自身製造ナスツタノヲ配布スルコト云フコトハ、ドウシテモ間ニ合ハヌト思ヒマス
故ニ、支那ニ於テ此ノ如キ原種ガアリマスレバ是等ニ對シテドウ云フ方法ヲ採ッテ居リマ
スカ、而モソレ等二十分御實驗ノ上ニテ其種ヲ選定スルコト云フコトハ甚ダ矛盾シヤシナイカ
ト思ヒマス、此邊ニ對スル御考ハドウデアリマスガ、ソレカラ次ニハ此種子ヲ審査會規則
ト云フモノヲ御廻シナリマシタガ、此内ニ置キマシテ最モ審査會ハ大切ナルモノデ、審
査スベキ人ノ選任ハ大切ナルモノデアリマス、此選任宜シキヲ得マセヌケレバ、到底其
其審査ガ出來ナイト思ヒマスガ、此第三條ニ選任セラルベキ人ノ資格ノ一トシテ、當府
縣ノ官公吏蠶絲業ニ關スル學識又經驗アルモノト、斯ウ云フノデアリマスガ、當府縣ノ
官公吏ト云フ項目ニ付テ餘程疑ハ懷クノデアリマス、ト云フノハ私ハ實驗ハアリマセヌケ
レドモ、唯今村上君等ノ質問等ニ依テ考ヘテ見マシテモ、少シ位ノ講習所ニ於テ攻究
ヲナシタリ、或ハ或學校ヲ卒業シタ位デハ、ナカノ蠶種ト云フモノニ對シテ幾十年實
驗ヲ經タモノニ比シテハ、確カニ劣ッテ居ルニ違ヒナイ、而シテ官公吏ト云フモノデアリマ
スカラ、何レ其道ニ達シタル今ノ卒業生ノ技手ト云フモノデアリマセウケレドモ、併シ第
一ニ官公吏ト云フ區別ヲスル必要ハナカラウ、斯ウ云フ風ニ一ニ官公吏ニ學識並ニ
實驗アルモノト致シマスルト、ドウシテモ種審査ト云フモノハ、或ハ是ハ府縣ノ御役
人方ノ手ニ詰リ移リハセヌカ、斯ウ云フ心配ガアル、私共ノ考デハ却テ斯ウ云フ事柄ハ
實際ノ仕事デアリマスカラ、寧ろ蠶絲業ニ關スル學識又ハ經驗アル者、斯ウ云フ者ニ重
キヲ置キタイノデアアル、一ニト並ベテアリマシテ、一ニノ標準カラ行ク譯デアリマスケレド
モ、官公吏ト云フモノヲ強テ此處ニ置キマセヌデモ、第二項ノ蠶絲業ニ關スル學識若クハ
經驗アル者、斯ウ云フモノヲ標準ト致シマシタ方ガ私ハ宜カラウト思フ、然レニ官公吏ト
云フ文字ヲ茲ニ重キヲ置カシムルガ如ク見エマスノハ、ドウモ是ガ所謂實驗ナキ學校ヲ
卒業シタ先生ノ手ニ移リハシナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ思フノデアリマス、ソレカラヤハリ此
選任——チヨット大急ギニ讀ミマシタカラ能ク分リマセヌガ、第九條デアリマス審査員ハ每
年地方長官之ヲ命ズ、此邊ノ條項カラ考ヘテ見マシテモ、ヤハリ府縣長官ノ意見ニ依ル
ト、ドウモ官公吏カラ重キヲ置カレテ役人ノ手ニ檢査ガナリハシナイカ、サウシマスルト餘程
是ハ愛フベキ私ハ弊害ガ——弊害デナイ其技術ノ或ハ學識ノ及ハサルモノニナラウカト思

フ、此審査ニ付キマシテ此邊ノ御考ハドウデアリマセウカ、ソレカラ尙唯今ノ武藤君ノ御
要求ニナリマシタトコロノ、即チ外國貿易ノ點等ニ關スル政府委員ノ御出席ヲ求メルコ
トガアリマシタガ、私モヤハリ外國ニ於ケル絲ノ需用供給ニ關スル大勢ト云フコトニ付テ、
十分ナコトヲ承リタイト思フノデアリマス、ソレハ成程蠶種ノ統一ト云フコトハ外國貿
易ト云フモノニ直接影響ハナイカ知リマセヌ、併ナガラ元ト云フ蠶種ノ統一ト云フコトハ
絲ノ統一ヲ計ル本ニ違ヒナイ、既ニ世界ニ於テ此日本ノ絲ト云フノハドウ云ウ點ニ於テ
缺點ガアリ、又如何ナル方面ニ於テドウ云フ敵ガアル、又之ヲドウ云ウ工合ニスレバ世
界ノ絹絲ト競争スルコトガ出來マスカト云ウコトノ、世界ニ於ケル貿易上ノ需用供給ノ
大勢ト云フモノガ、最モ此案ニ必要デアラウト思ヒマス、此點モ併セテ御尋ヲ致シタイ
ト思ヒマス、餘リ質問ガ統一ヲ缺イテ居リマスガ、御迷惑デモドウカ御答ヲ願ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 久保田君ノ御尋ニ對シテ御答致シマス、第一ハ繭ノ標
準政府ガ是カラ先キ統一シテ行ク上ニ付テ使フトコロノ原種ニ當ルモノ、繭ノ標準スラ
尙極ッテ居ラヌノニ、來年カラ之ヲヤラウト云フノハチト矛盾デナイカ、早計デナイカ、斯
ウ云フ御問ノヤウデアリマス、是ハ前回來度々申シマシタ通りニ、絕對ノ優良種ハ目下
分ラナイ、是ハ恐ラク急ニ目付カル譯ノモノデナカラウト思ヒマスケレドモ、併シ全國ニ於
ケルトコロノ澤山アル種類ノ中カラ、比較的優良ナルモノヲ認メルコトハ困難デナカラウ、
是ハ獨リ政府ノモノガ認メルノミナラズ、民間ノ同業者モ皆異口同音ニ言ウテ居ルトコ
ロデアリマスカラ、比較的ニ其良イモノハ確ニ見付カル積リデアリマス、絕對ノ優良種ハ何
年先キカ分カラヌケレドモ、ソレ程ニ行クノラ俟タズシテ、今日デ比較的ニ良イモノガアル
ナラバ、先アソレカラ始メテ行クノデアル、其絕對優良種ノ見付カルノラ俟ツナラバ、或ハ
十數年モ二十年モモット先キニナルカ知リマセヌカラ、ソレマデ俟ッテ居ッテ、ソレガ分ッテ
後統一事業ニ掛ラウト云フコトニナツテハ何時ノコトカ分ラヌ、現在アル中デ誰ガ認メテ
モ是ナラ宜カラウト云フモノガアルナラバ、先ヅソレヲ比較的優良種ト認メテ、ソレカラ手
始メニ其コトヲヤツテ、一方デハ試驗研究ヲサセテ優良ナルモノヲ撰擇スルコトニ努メヤ
ウ、斯ウ云フヤリ方デアリマスカラ、其標準ニ付キマシテハ先刻芳賀技師カラ御答致シマ
シタガ、マダ明確ナル標準ト云フモノハ極メテ居ラヌガ、大體ノ標準ヲ極メルコトハ困難
デゴザイマセヌカラ、專門ノ知識ヲ備ヘタモノ、意見ガ略々一致シテ、之ヲ認メルコトニス
レバ、ソレニ依ッテヤツテ行ケバ誤リハ決シテナイデアラウト云フ考デアリマスカラ、其邊デ御
承知ヲ願ヒタイ

○久保田與四郎君 差挿ンデ失禮デアリマスガ、サウシマスルト或他ノ人ミガ拵ヘタ其
中ヲ擇ブト云フ政府ノ御趣意デ——何レノ方面カノ進シテ居ルモノヲ配付スルト云フ趣
意デナクシテ、他ノ出來テアルモノ、中ノ何レカラ擇ブコトニナリマスカ

○政府委員(下岡忠治君) 何レ無カラ有ラ出ス譯ニ往キマセヌカラ、現在日本ニアル
種類カラ出テ來ナケレバナラヌ、地方ニ於ケル優良ナルモノヲ集メ、ソレカラ始メテ行ク、政
府ガ飼ッテ之ヲ送ル、又政府ガ飼ッタモノガ惡ルケレバ又別ナ地方ニ於ケル優良ナルモノヲ
選定シテ行クト云フ考デゴザイマス、但シ一方ニ於キマシテハ、第何問ノ御尋デゴザイマ
シタカ知ラヌガ、支那種ナリ或ハ伊太利種ナリヲ取寄セテ拵合セウヤツタリ、各種ノ試驗
ヲヤラウ、斯ウ云フ考デアリマスカラ、第二ノ御尋ノ蠶絲業ノ發達及改善ニ關スル件ト

云フコトニ付テ、副業のニ養蠶業ノ發達ヲ圖ルガ宜イ、之ニ就テハ小規模ノ飼育家ノ増
加スルコトヲ圖ルコト、アルガ、ソレニ付テハ方ハドウヤ行クカト御尋デアリマスガ、
是ハ大體ノ方針ヲ定メマシタノデアリマシテ、政府ガ斯ウ云フ方針ヲ取ル、即チ地方廳
ニシテモ郡役所ニシテモ町村ニシテモ、總テ斯ウ云フヤウナリ方ヲ進メ行クト云フ大
體ノ方向ヲ示ス積リテ書イタノデアリマスカラ、唯今之ニ付テハ具體ナコトハドウスルコト
コトハ出來テ居リマセヌ、併ナガラ各種ノ獎勵事業トシテ、或ハ桑園ヲ殖ヤシ、或ハ良イ
種ヲ成ベク廉ク配付スル途ヲ講ズル、或ハ絲ノ拵方ニ付テ共同ノ經營ヲ獎勵スル
カ、補助費ヲヤルトカ云フヤウナ各種ノコトガ、詰リ是ハ出來テ行クモノデアリマス、因ッテ
具體のニ小サナ飼育家ヲドシ、殖ヤスニ付テ、ドウ云フ方法ヲ取ルカト云フ點ハ、百
般ノ方法ヲ取テ行クノデアリマスカラ、是レノニ限ルト云フ積リデアリマセヌ、各方面
ニ於テ蠶絲業ノ獎勵ヲ圖ル上ニ付テハ、斯ウ云フ見當ヲ以テ進メ行クコトニシタイト云
フ考デゴザイマス、而已ナラズ現在ノ傾向ハサウナッテ居ルノデアリマス、昨日モ御話シタ
カト思ヒマスガ、是マデ養蠶業ノ殆ド無カッタコトデ、或ハ十年計畫ヲシタリ或ハ七年
計畫ヲシテ、隨分長足ノ進歩ヲシタ地方ガ澤山アル、却テ先進ノ地方ヨリモ後進ノ地
方ガ現實ニ進歩シテ居ルヤウナ狀態ナ所モ隨分ゴザイマスカラ、此筆法ヲ進メナラバ、
餘程將來ハ副業組織ノ小飼育家ノ戸數ガ増加スルコトニナラウト云フ見込ヲ著ケテ居リ
マス、第三ノ御尋ノ御參考ニ廻シマシタ養蠶業ノ發達ヲ圖ル上ニ付テ、收購額ガ年々
十五萬石以上増加スルコトガ書イタルガ、是ハ何カ方針ヲ行フニ就テ計畫ガアルカト云フ
御尋デアリマスガ、是ハ少クとも此位ハ持ッテ行カナケレバナラヌ、又ヤリ得ルト云フ見當
ヲ付ケタノデアリマス、ヤハリ此事ヲ行ウテ行クニ就テハ、各般ノ獎勵指導ヲ行ウテ行カ
ナケレバナラヌ積リデアリマス、尤モナゼ斯ウ云フモノヲ調ベルカト申サレマス、ヤハリ世
界ノ需用供給ノコトヲ考ヘナケレバナラナイ、餘リ急激ニ進歩シテハイカニカラト云フコ
トデアルガ、世界ノ市場カラ考ヘテ見レバ、(ドシ)殖ヤシテ行クデモ宜イ、少クとも此位
ノ程度デ行クデモ供給餘リアッテ値段ガ安クナイ、經濟ガ取レナイト云フコトノ心配ハナカ
ラウト云フ積リデアリマス、今日地方デモ此點ニ疑ヲ挾シテ從來天然原種ナドモ隨分敵
ガアリ、人造原種ナドガ非常ニ盛ンデアル、折角十年ナリ五年ナリノ計畫ヲシテ獎勵シ
テモ、需要ガ少クナッテ、日本ノ養蠶業ガ餘リ供給ガ多イガタメニ獎勵シテ、折角殖エタ
桑モ亦引拔カナケレバナラナイト云フコトニナリハシナイカト、屢々地方長官アタリハ疑ヲ
挾ム者ガゴザイマスカラ、大體基礎的ノ調査ヲシタコトノモノニ依ッテ見レバ、決シテサ
ウ云フ御心配ニハ及バヌ、又外國ノ能ク調ベテ見テモ需用ガ少クテ供給ガ過量デ困ルト
云フコトハナイノデアリマス、此位ノ程度ニ於テ進メ行ケバ、安全ナル蠶業ノ發達ノ標
準ト云フコトガ出來ルノデアリマス、是モ非常ニ正確ナルモノトハ申サレマセヌガ、大體ノ
方針トシテハ間違ッテ居ラヌト云フ考デ、斯ウ云フモノヲ作ッテ一般ノ參考ニ供スルコトニナ
リマシタノデアリマス、ソレカラ第四ニハ種類ノコトノ御尋デアリマス、是ハ是マデイ
ロノヤッテ居リマス、向フノ種ヲ此方ヘ持ッテ來マシタ結果、宜イト思ッタノガ、二年
三年經ツト又惡クナル、是ハ氣候風土ノ關係ト見エマシテ、愈々固定シテ吳レテ此種
ナラバ大丈夫デアルト云フ結果ヲ得ヤウトシタイロノ、試驗ハシテ居リマスケレドモ、併ナ
ガラ是ハ何トカ向フノ種ヲソグリ使ハズシテ、間ノ子デモ作ッテ宜イ結果ヲ得ラレルカ

ト、ソレモヤッテ居リマスガ、一年ヤ二年ノ試驗デ直チニソレデ宜イト斷定ハ下サレヌノデ
ス、伊太利ノコトハ武藤サンハ委シク御承知デアルト思ヒマスガ、伊太利デハ固有ノ種ニ
日本ナリ支那ノ種ヲ掛合セテ、種類改良ノ爲メニ三十年來盡力シテ居ルト云フ狀況デ
アリマス、今日デハ大分伊太利デハ宜イ結果ヲ見テ居リマス、日本ノモ本來ハ決シテ惡
イ種デハナイガ、一方ニ長所ガアルト同時ニ又一方ニ短所ガアルカラ、此短所ヲ去ッテ
他ノ長所ヲ養ッテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ研究ハ常ニ怠ラヌ積リデアリ
マス、是ナラ一般ニ満足ナ結果ヲ與ヘルモノデアルト云フモノヲ得タイ、特ニ此點ニ就テ
研究ヲ重ネテ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、其次ノ種蠶審査會ノコトデアリマスガ、
是ハ餘程官僚ヲ無能ト云フヤウナ御考デアリマスガ、サウ御考ニナレ程ノ御心配ハナカラ
ウト思ヒマス、是ハ官吏デケテ決シテ出來ル藝デゴザイマセヌ、現ニ種蠶審査會ヲヤッテ
居リマスガ、縣廳ノ技師トモウ一人公吏位ハ入ッテ居ルカ知レマセヌガ、其以外ハ實業
家ト蠶種製造家及養蠶家ト云フ風ノ人々ヲ入レテ、十名ナリ十五名ナリヲ組織スルコ
トニナッテ居リマス、二人ヤ三人デ審査標準ノ總テノコトヲ極メルト云フコトヲヤッテ、ソ
レハ必ず失敗スルニ極メテ居ル、是ハ認メガ附カナクテモ勝手ニ地方廳デ之ヲ極メルト云
フコトガ出來マセヌカラシテ、其點ハ餘リ御心配ニハ及バヌト思ヒマスガ、規定ノ書方ハ
惡ケレバ多少變ヘテモ宜カラウト思ヒマスガ、趣意ノアルトコロハ御了承ヲ願ヒタイ

○政府委員(押川則吉君) チョット私ハ申譯ヲシテ置キマス、海外貿易ニ關スル法律
案デアリマスカラ、商務局長モ出席スベキ筈デアル、ソレヲシナイノハ甚ダ不都合デアルト
云フ御話デアリマスガ、實ハ大臣モ私モ出來得ル限リハ此所ニ出席シテ、御意見モ聽キ
又説明スルコトハ説明ニ努メタイト注意シテ居ル次第デアリマスガ、今日ハ丁度貴族院
ニ豫算總會ガアッテ、ドウシテモ外スコトガ出來ナイト云フコトニナッテ居リマス、此商務
局長ノ關係ハ海外貿易ノコトニ就テハ無論主トシテ商務局長ガ多數ノコトヲ取調ベテ
居リマス、御承知ノ通り以前ニ農務局ニ蠶絲課ト云フモノガアリマシタガ、蠶絲業ノ製
造ノコトニ就テハ、特ニ農務局ニ一課ヲ置イテ居ッテ、其時代カラシテ蠶絲ノコトハ蠶絲
課デ總テノコトヲヤッテ居ッタノヲ、商務局長ガ殆ド總テノコトヲ主管ノ如クシテ取扱ッテ蠶
絲課ハ廢サレマシタケレドモ、蠶絲業ノコトニ就テハ大體ノコトハ商務局デモ承知シテ居
リマスガ、詳細ノコトニナルトヤハリ其貿易上ノ關係ヤ何カハ却テ農務局ノ蠶絲課ノ關
係トシテ商務局長ノ方ガ詳細取調ベテ居マスカラ、若シ之ニ就テ御質問ガアリマス
却テ或ハ商務局長ヨリ農務局長ガ説明スル方ガ要領ヲ得ルコトガアラウト思ヒマスカラ、
ソレデケテ御參考ニ申シテ置キマス、決シテ商務局長ガ殊ニ缺席シテ居ルノデアリマセ
ヌシ、答辯ヲ拒ミ譯デアリマセヌカラ、ソレデケノコトヲ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○武藤金吉君 サウ致シマスト海外ニ派遣サレマシタ商務官等ハ、農商務省ニ於キマ
シテ、ヤハリ商務局ガ御管理ナスッテ居ルコトニ承知シテ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(押川則吉君) ソレハサウ云フコトハ言ウタノデアリマセヌ、唯今申シタ
ノハ蠶絲業ノコトニ就テ申シタノデ、商務官ノコトニ付テハ何モ申シマセヌ、是ハ無論主
トシテ商務局ガ關係シテ居リマス、商務官ノ各局ニ關スルコトハ其專門ノ各局ニ無論關
聯致シテ居リマス、ソレデケノコトヲ申上テ置ク次第デアリマス

○武藤金吉君 海外貿易ニ關スル商務官ノ働キノ貿易販路等ニ付キマシテ御質問

申上ゲタカアリマスカラ、大臣が出ラレマセケレバ、次官並ニ商務局長ノ御出席ヲ御願シテ置キマス

○委員長(野田卯太郎君) ソレデハ一時ニ開會スルコトニシテ、是デ休憩

午前十一時五十八分休憩

午後一時十四分開議

○委員長(野田卯太郎君) 開會致シマス、チヨット申シテ置キマスガ、次官モ豫算會が開カル、ノデ、午後ハ缺席ニナリマスカラ報告シテ置キマス

○武藤金吉君 私ハ此生絲ノ貿易ノコトニ付キマシテ一應御伺シタイと思フ、此蠶種統一ノ問題ハ繭絲ノ統一ヲ計ルニアツテ、而シテ生絲ノ整理ヲナスコト云フニ外ナラヌデアリマシテ、今日ノ貿易ノ趨勢ヲシテ何處ニドウ云フ絲ガ向クト云フコトカラシテ、此品質ノ改良ト云フコトガ主ニナツテ來タニアリマス、然ルニ此大分委員會モ進ミマシテ、蠶種ノ統一ト云フコトニ付テハ段々ニ質問モゴザイマスシ、又下岡君ノ御勉強ニ依テ種ノコトヲ承リマシタ、然ルニ此貿易上ノ趨勢ニ付キマシテハ未ダ聞クコトガ無カッタデアリマス、第一私ガ聽キタイと思フノハ、政府ハ商務官ヲ設ケテ此商務官ヲ歐羅巴亞米利加ニ派遣サレテ居マス、是ハ勿論我邦ノ重要物產ノ販路、及ヒ其重要物產ノ使途ト云フコトニ付テ、研究査察ノコトヲ大ニサレテアルと思フデアリマス、然ルニ此商務官ガ歐羅巴ニ於テ倫敦ナリ、或ハ米國ニ於テ紐育ニ於テモ、殊ニ紐育ノ商務官ニ於テハツイ近日農商務省ニ於ケルコロガ蠶種ニ於テ、特別ノ經驗ト學識ニ富ムデ居ラルル紫藤君ガ其衝ニ當ラレタコロガ、歐羅巴ニ於テ倫敦ニ於テモ、巴里ニ於テモ、紐育ニ於テハ當業者ガ生絲若クハ羽二重ニ付キマシテハ、當業者ト雖モナカク、能ク精通シテ居ッテ、商務官以上ニ利害ノ點カラ品質總テヲヤツテ居ル、之ヲ何ノ目的デ商務官ヲア、云フ處ニヤツタカト云フコトヲ承リタイ、例ヘバ生絲羽二重ナリ茶ナリニシテ、商務官ヲヤルナレバ何故ニ亞米利加デ云ヒマスレバ、北米ニヤツテ南米ニ之ヲヤラヌカ、又歐羅巴デアリマシタナラバ、羽二重ナリ生絲ナリ、此分リ切ツタコロガ佛蘭西ナリ倫敦ナリニ置カヌデ、伊太利ナリ若クハ獨逸ナリ露西亞ナリノ、十分ニ廣マツテ居ラヌコト何故ニ商務官ヲ置カヌデアリマスカ、此商務官ガ折角總テノ事ヲ經驗ト學識カラシテヤリ處ガ違ヒハセヌカと思フ、現ニ私共ガ獨逸ニ往ツテ見マスレバ昨今問題ニナツテ居ル羽二重ニ於テハ從來關稅ヲ上ゲナイモノ、實目モノニ對シテ、從來ノ慣例ヲ破リ獨逸ハ四割ノ重稅ヲ課スルコトニナツテ居リマス、此等ノコトハ此農商務省ニ於テハ如何ナル御方針ヲ執テ御調査ニナツテ居ルカ、此生絲ノ販路ハ先刻モ丁度久保田君ノ御尋ニ對シテ、下岡君ノ御答辯ガアリマシタガ、私共ノ見ルコトコロヲ以テスレバ實ニ原蠶種ハ年々殖エテ往ク、増加ハ二割以上ノ増加ノ速力ヲ以テ居リマス、然ルニ久保田君ノ御尋並ニ參考書ニアルコトコロ見マスレバ、二百五十万石ニ對スル十五万石ノ増加ノ見込デアリマス、此等ノ歩合ニ依テ見マスルト、五分ニ當ラヌ四分位ニシカ當ラヌ、全國ニ於ケル需要ト云フモノハ確ニ二割ヲ越ヘテ需要ガ殖エテ往ク傾向ヲ持ツテ居ルニモ拘ハラズ、政府ノ施設ト云フモノハ年々四歩ノ増加ニ見込デシカヤデ行カヌト云フコトハ、成程堅固ニ危イ橋ヲ渡ラヌヤウニヤツテ行クコトモ過失ガナリデアリマセウガ、今日既ニ此織物ニ付テハ今マデハ獸ノ毛ヲ著ルトカ、或ハ若クバ鳥ノ羽ヲ用井ルト云フヤウナコトハ、現在ニ於

キマシテハ段々文明ノ進化ト共ニ減シテ來テ居ル傾向ヲ以テ、サウシテ絹織物が普通ノ日用品ニナツテ居ルデアリマス、一方ニ天然蠶絲ノ外ニ人造絹絲ト云フモノモ出來テ居リマス、出來テ居リマスガ是以テ四年前マデハ是ガ天然蠶絲ノ五分ノ平均デ行ツタモノガ、昨年ノ統計ガ丁度二割ノ上ニナツテ居ル、全體ガ是ガ増シテ行ツテ居リマスカラ、我日本ノ如キハ蠶絲業ヲ以テ國ノ生命トシ、重要物產ノ上ニ益、此改良ヲ加ヘテ世界ノ霸權ヲ握ラウト云フ政策デアリマスガ、之ニ伴フタケノ設備ヲシテ行カケレバナラヌ、然ルニ此如何ニ蠶絲ノ改良桑園ノ改良ヲ致シマシテモ、世界ノ販路ニドウノ國ガ太絲ガ向イテドウノ國ガ細絲ガ向タ、堅絲ガドウ云フ風ニナツテ居ルト、明カニ農務局ト商務局ノ間ニ分ツテ、ソレガ内地ノ内ヘ行ハレルト云フコトデナケレバ、此生絲ガ商品ナル上ニ於テ改良ヲ要スルデアリマスカラ、農務局及商務局一致シテ御居デナリマセウガ、先刻農商務次官ノ御斷ハリニ於キマシテモ、現ニ農務局ガ主トナツテ此事ニ付テハ商務局ノ方ハ餘リ關係シテナイヤウノ御説明デアリマシタガ、斯様ナコトハ多量ノ國費ヲ掛ケテ大發展ヲシ大改良ヲ加ヘルト云フコトハ、如何ニモ心細イと思ヒマス、此邊ニ付キマシテ商務局長ハ如何ニ從來ノ經驗トシテ將來ノコトヲヤル御積リデアリマスガ、實ハ斯ウ云フ問題ハ大臣及次官ニ承ツテ、サウシテ其一部ヲ商務局長カラ御答ヲ願フ方ガ宜イと思ヒマスガ、今日ハ大臣ト次官ハ御出席ガ出來ヌト云フコトデアリマスカラ此邊ノコトヲ商務局長カラ一應御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(大久保利武君) 唯今武藤君カラシテ、生絲貿易ト蠶絲統一ノ關係ヨリ商務官ノ配置ノコト、又生絲貿易ニ關スル蠶絲等ノ關係上、如何ナル意見ヲ商務局ニ於テハ持ツテ居ツタカ、其邊ノ意見モ聽キタイ云フ御問デアリマス、大體御答致シマスル、此商務官ノコトハ御斷リ申シテ置キマスガ、商務官ノ所管ハ御承知ノ通り外務省ニナツテ居リマスガ、併シ其運用配置ノコトニ付テハ無論兩省協議モ致シテ居リマスルシ、始終其運用活動ニ付テハ打合ラシテ居ルコトデアリマスカラ、私カラ御答シ得ルダケノコトヲ申上ゲテ置キタイと思フデ居リマス、商務官ノ配置ハ御承知ノ如ク各國ニ於テ執ル所ノ方針モ種々分レテ居リマス、所ガ例ヘバ一國ノ貿易ノ上デ最も重要ナル品物ニ付テ、特ニ專門家ノ派遣シテ居ル所モアルシ、又從來販路ヲ十分ニ開拓サレヌ土地ニ商務官ヲ置ク處モアルシ、種々ニナツテ居リマスガ、前年御協賛ヲ經テ四名ノ商務官ガ配置セラレルトコトニナツテ、此事ニ付テハトモ四名デ我帝國貿易ノ發展セントスル今日ニ於テ、トモ需用ニ應ズルコトハ出來ヌデアルガ、財政ノ都合上先ヅ四名ニ止メルコトニシテアリマシテ、將來財政ノ許ス限リハ進シテ各國重要ノ地ニ商務官ヲ配置スルコトニナツテ居リマス、先ヅ第一回ノ商務官トシテハ第一ガ倫敦、第二紐育、第三第四ガ支那ニ於テ、即チ上海香港ト、斯ク配置ニナリマシタノハ、御承知ノ如ク倫敦ハ世界商業ノ中心デアツテ、倫敦ニ於テ各國貿易ノ需要供給ノ點ハ必ズ微妙ニ感ズルトコロデアツテ、殊ニ歐羅巴ニ於ケル先ヅ第一ニ倫敦ニ置クコトヲ必要トスル、其以外ノ國ニ於テハ漸々逐フテ配置スルト云フコトニ致シマシテ、先ヅ第一ニハ倫敦ニ商務官ヲ置イテ、歐羅巴各國ノ各貿易ニ付キテ調査研究ヲ積ミ、其販路ヲ求メテ貿易ノ發展ヲ致シタイ、無論倫敦ニ駐在スル商務官ハ我國貿易ノ大宗タル生絲ニ付テモ、里昂領事館又ハ獨逸ニ於ケル名譽領事官ナリ、又ハ其他詳シキ所ノ當業者アタリト聯絡ヲ通シテ、

殊ニ此生絲貿易ニ付テハ重キヲ置イテヤルコトニナリ居リマス、併シ無論倫敦ニ駐在スル商務官ノミヲ以テ重大ナル任務ヲ盡スコトハ出來マセヌカラ、將來財政ノ許ス限リニ於テ、他國即チ佛國伊太利邊ニ十分ニ調査ノ出來ル方法ヲ採ルコトニナリ居リマス、ソレカラ紐育ハ御承知ノ如ク幸ニモ都合ガ付キマシテ、蠶絲業ニ最モ多年ノ經驗ヲ有シ精通スルコトコロ商務官ヲ配置スルコトガ出來マシテ、將來大ニ此我國ノ最大輸出品タル貿易ノ發展ニ付テハ、出來ルダケノ力ヲ盡シ、又此商務官ノ活動ト共ニ内ニ於テ生絲貿易ノ關係ノ種々ノ機關組織、即チ内地ノ蠶業ヲ發達シテ、相應シテ生絲貿易ノ發展ニ力ヲ盡シタイト云フ考デ、其點ニ於テハ終始本省內ニ於テ關係ノ各局種々研究ヲ盡シテ、將來ニヤッテ行キタイ積リデアリマス、其他清國ニ於ケル貿易ノ必要ナルコトハ申スマデモアリマセヌガ、尙清國以外ニ於テモ印度並ニ南洋方面等ノ販路、未開ノ土地柄ニ於テハ調査ノ著クベキ方針ヲ以テ、將來ニ商務官ノ増員ヲ期シテ居リマス、先程南米ノ御話モアリマシタガ、無論政府ニ於テハ南米貿易モ重要ナル將來ノ得意場トシテ、既ニ本省ヨリ二三人モ高等官ヲ派シテ貿易品ノ擴張ト云フコトニ付テ調ベモ致シマシタ、又紐育ニ駐在スル商務官ガ南米ニ於ケル各方面ト能ク通ジテ、生絲貿易若クハ生絲ノ製品、即チ絹織物ノ有望ナルモノニ付テハ、販路ノ開拓ニ付テハ努メテ積リデアリマス、南米方面ニ於テモ將來財政ノ許ス限リニ於テ、商務官ヲ配置致シタイ積リデアリマス、要スルニ御説ノ如ク未ダ開拓セザル販路ニ於テ、商務官ヲ置キタイ處ハ多方面ニアリマスノデス、是等ハ將來財政ノ許ス限リニ於テ、是非トモ増員ヲ許リ、適當ナ人ヲ選ンデ其目的ヲ達スル、即チ武藤君ノ御趣旨ハ至極御同感デアリマスノデ、其點ニ付テハ將來モ尙一層力ヲ盡シタイ考デアリマス、ソレカラ蠶種統一ニ付テ生絲貿易上ドウ云フ商務官ノ上カラシテ、意見ヲ持ッテ居ルカト云フ御尋ネニ對シテハ、御承知ノ如ク生絲貿易ハ我國ノ貿易品トシテ、將來國ノ命脈ニ繫ル品物デアッテ、幸ニモ近年非常ナ發達ヲ致シテ、數年來一億圓以上ニモ上ッデ居リシ、亦將來モ此趨勢ハ持續スベキモノ又持續スルヤウニ一層發展ヲ計リタイコトハ申スマデモアリマセヌ、生絲貿易ニ付テ爾來政府ヲ施設セルコトハ、御承知ノ如ク、内地各產業組織ハ申スマデモアリマセヌ、貿易品ノ検査、即チ生絲検査所ノ如キモノ、是ハ既ニ海外ニ於テ非常ナ信用ヲ得、又橫濱ニ於ケル生絲取引所ノ相場ノ如キモノ、近年ハ亞米利加邊ニ於テハ橫濱ニ於ケル相場ガ一ノ標準ニモナルト云フコトマデニ達シテ居ルデアリマシテ、生絲貿易ハ尙各種ノ商業機關ヲシテ間接直接ニ此發達ヲ助ケテ、此蠶種統一ノ目的即チ生絲貿易品ノ發達ト云フコトニ努メタイデアリマス、近來此生絲貿易ノ趨勢ハ世界ニ於テ非常ナ需用ヲ來シツ、アリマシテ、年々需用ノ増スニ從シテ、各國共ニ發展ニ努メテ居ルデアリマスカラ、隨分將來ニ於テ生絲改良ノ上ニ付テ競争ガ起ッテ來ヤウト思ヒマスガ、將來ノ趨勢ニ於テ大ナル需用ヲ年々増シテ行クデアラウト云フコトハ、既往ノ經過ニ依ッテモ分ル、獨リ生絲其モノ、貿易ノミナラズ、生絲ヨリシテ生ズル製品、即チ羽二重ノ如キ其他絹織物ノ如キ年々非常ナ發達ヲシテ來テ居リマス、亞米利加ニ於テハ他ノ貿易品ハ時ニ依ッテ盛衰ガアリマス、又近年ニ於テハ生絲ヲ除イテ他ノ商品ハ甚シク發展ハ來シマセヌガ、獨リ生絲ノミハ裕々トシテ益々需用ヲ起スト云フ運ニナリ居リマスガ、先程申ス如ク、隨分競争モ激シクナッテ來マスデ、商品トシテ生絲ガ海外ニ於テ始終缺點

ノ生ズルノハ品質ノ粗漏ナリト云フ點デ、即チ優良ナル生絲ヲ揃ヘテ澤山ニ輸出スルコトガ貿易ノ上ニ付テ極メテ必要デアル、即チ生絲ノ需用ト云フモノハ近年非常ニ各方面ニ殖エル、即チ大體需用ノ多クナルト云フ點ニ歸著シマスルガ、或ハ流行ガ非常ニ盛ニナッテ來ル、或ハ絹織物等ガ年々一季節用井ルト云フト其織物ガ廢レテシマフ、流行ノ變遷ガナカク劇シイノデ、流行ガ劇シクナレバナル程絹ノ需用ト云フモノハ餘計ニ起ッテ來ル、ソレカラ又衣服以外ニ絹ノ需用ト云フモノガ非常ニ起ッテ來ルトカ云フコトナドガ、生絲ノ需用ヲ大ナラシムル一ノ原因ニナッテ居リマス、然ルニドウモ日本ノ絲ハ貿易品トシテ品ガ揃ハヌ、雜駁デアルト云フ點ガ缺點ト唱ヘラレテ、先年亞米利加ノ絹業協會ノ會長ガ日本ニ參ッダコトガアリマス、其人ノ話ニモ其人ハ亞米利加ニ於テ大ナル織物工場ヲ持ッテ居リテ、日本ノ絲ヲ大部分使用シテ居ルデアリマスガ、其人ノ話ニモ日本ノ絲ハ大分改良モ出來タガ、如何セシ未ダ雜駁デアッテ、品物が揃ハヌ、揃ハヌタメニ種々伊太利邊ノ絲ニ較ベルト品質ニ於テモ、價格ニ於テモ、是ト拮抗スルコトガ出來ヌヤウナ感ガ少クナイデアッテ、日本ノ絲ハ甚ダ有望デアル、併シ之ヲ品質ヲ宜クシ品物ヲ揃ヘテ雜駁デナイヤウニシナイト、競争ノ激シイ今日、未ダ他ノ國ト相争ッデ優勝ノ地位ヲ占メル譯ニ往カヌカラト云フ話ヲ、實地經驗ノ上カラ日本ニ參ラレテ話ヲサレタコトモアルノデ、ソレ等ノ點ハ確カニ日本ノ生絲ノ商品トシテノ缺點ヲ言ヒ得タモノデアラウト思ヒマス、此蠶種ノ統一ト云フコトニ付テハ即チ此生絲貿易ノ改良ト云フコトニ付テ、直接非常ナ關係ガアルノデ、將來世界各方面ニ起ッテ來ルトコロノ生絲ノ需用ニ付テ、其土地ノ需用ノ内容如何、即チ如何ナル絲ヲ用井ルカ、又ドウ云フ缺點ガアルカト云フ如キコトヲ、海外ニ派シテアル商務官其他時々出シマス調査委員等ヨリシテ、能ク是等ノ實況ヲ取調ベテ貰ヒ、又内ニ於テハ蠶業改良ト相持チ相提挈シ、密著ナル關係ヲツケテ將來此大目的ヲ達シタイ考ヘテ居ルデアリマス、尙言ヒ盡サヌトコロハ御尋ニ依ッテ申上ゲタイト思ヒマス

○武藤金吉君 尙牽聯シテ御尋致シタイト思ヒマスガ、亞米利加ノコトハワレデ宜シウゴザイマスガ、歐羅巴ノ方ノ生絲ハ現在ニ於テハ先ッ佛蘭西ヲ中心ニシテ、各所ニ捌ケテ往クヤウデアリマスガ、將來政府ノ見ルトコロヲ以テモ、此歐羅巴ニ參リマシタ生絲ハ、ヤハリ佛蘭西ヲ中心ニシテ貿易ヲセラル、方ガ宜イト云フ御思召デアリマスガ、私ノ聞クトコロニ依リマス、近來歐羅巴ニ於ケル生絲貿易ハ日本及支那ノ製品ハ多クハ伊太利「ミラン」ヲ中心ト致シテ、各方面ニ分配サレルト云フ傾向ニナッテ居ルヤウデアリマス、現二十年間ハ六、七萬基瓦デアッタモノガ昨年度ニハ確カ其三、四倍ニナッテ、十八萬基瓦トナッテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、サウナリマシタ場合ニハ、將來ハ此日本ノ船ガ馬耳塞ニ著テ里昂ヘ往キ、倫敦ナリ其他各方面ニ分配サレモノハ、或ハ此「ミラン」ニ持テ往ク方ガ船ノ便利カラ言フデモ運賃ノ點カラ言フデモ宜イト思ヒマスガ、ソレカラ又現在ハ免ニ角、將來ハ必ズ伊太利ガ產業政策ヲ執ッテ參リマス以上ハ、佛蘭西ハ段々一年ニ一割乃至一割五分ノ標準ヲ以テ減ッテ往キ、伊太利ハ獎勵ノ結果トシテ昨年ハ殖エマセヌケレドモ、二割位ノ標準ヲ以テ殖エテ行ケバ、勢ヒ歐羅巴ニ於ケル貿易ノ中心ト云フモノハ「ミラン」ニナリハセヌカト思フノデス、從テ今日歐羅巴ノ將來織物ノ趨勢ヲ見マシテモ、今マデハ佛蘭西デアッタモノガ、大抵伊太利——伊太利ト申シマシテモ

「アルプス」山ノ附近、瑞西、匈牙利、或ハ境地利カラ出ル品物ハ彼處ニ集中致シマス
カラ、必ズ彼處ガ中心ニナリハセヌカト思ヒマス、彼處ガ中心トナレバ、歐羅巴ニ於テ北
歐羅巴、即チ獨逸、露西亞、乃至丁抹、瑞典、諾威マデモ、其他露領ノ波蘭、芬蘭
マデモ絹織物絹絲ガ往クヤウニナリマス、勢ヒ期年ナラズシテ貿易ノ中心ハ變テ來ハ
セヌカト思ヒマス、然ルニ其實際ノ狀況ヲ見マスル、農商務省等ニ於テハ之ヲ觀察ス
ル機關モナケレバ役所モ無イ、領事館ノ如キハ單ニ名譽領事ニ託シテ置クト云フヤウナ
譯テ、又大使館アタリヘ往ッテ絲ノコトヲ聞クト何ニモ知ラナイト云フ形跡ガアル、獨逸
ヘ往ッテ見ルト、現今ノ關稅改正ガ問題トナッテ、羽二重ガ二百万カラ往クモノニ向ッ
テ、殆ド缺席裁判ヲ食ッテ居ルト云フヤウナコトデ、其裁判ヲサレテモドウスルコトモ出來
ナイ、獨逸ノ大使館アタリヘ現ニ參事官ガ泡ヲ食ッテ、里昂カラ見本ヲ取寄セタリイロ
イロ聞イタリシテ、向フノ談判ニ應ジテ居ルト云フヤウナ風ガ、私共ノ往ッテ時分ニ見エ
タノデアリマス、私共ニモ多少分ッテ居ルトモアリマス、段々意見ヲ述ベ、其防戰ヲシ
テ居タヤウナコトデシタガ、昨今新聞紙デ見ルト、現ニ從來一割デアッタモノニ向ッテ獨逸
ハ四割ノ重稅ヲ課スルト云フコトニナッテ居ルヤウデスガ、斯様ナコトハ將來此貿易ニ對
シテ非常ナ關係ヲ持ツモノデアッテ、等閑ニ當局ハナサレテ居ルノデアリマス、商務
官ナドヲ開ケタ繁華ナ處ヘヤッテ、全體ニ注意サレナイ結果、デハナイカト思ヒマス、隨ッ
今後内ニ於テ蠶種ノ統一ヲナシ、絹質ノ完備ヲ圖ル以上ハ、例ヘバ「デニール」ノ十四ノ
モノハドコヘ往クトカニ二十四ノモノハドコヘ往クト云フヤウナ、歐羅巴ニ於ケル需用ノ御
調査ト、販路ノ御調査ト云フモノガ極ッテ來マセヌト、隨ッテ種ヲ造ル方ニツレガ對シテイ
カナイト、繭ヲ造ル方ニハ何ニモナラヌコトニナリハセヌカト思ヒマス、私ノ考ヘマスニ今日
在來ノヤリ方デハ、其機關ト其調査ト云フモノガ極メテ未ダ不備デハナイカト思ヒマス、
此點ニ付テ今日マデノ御説明ヲ承ハルヨリモ、今後ノ方針ヲ伺ッテ置ク方ガ、大問題ヲ
決スルニ私共ガ去就ニ付テモ宜ク、又國家ノ爲メニモ宜イト思ヒマス、此點ニ付テ
御考ガ御決定ニナッテ居リマスレバ御説明ヲ承リタイ

○政府委員(大久保利武君) 從來歐羅巴ニ於テ里昂ガ生絲貿易ノ中心デアッタガ、
「ミラン」ガ近來非常ニ發達シ來タシテ來テ、數年ナラズシテ形勢ガ餘程違ッテ來ハセヌカ
ト云フ御説ニ付テハ、或ハ近年伊太利ノ北部ノ發達ノ趨勢カラ見マスルコト云フト、或ハ
サウ云フ日ガ來ルカモ知レヌト云フ疑モ有タヌデアリマス、今日ノトコロニ於テハ里昂
ガ依然トシテ生絲貿易ノ中心タルコトハ、是ハ申スマデモナイコトデアリマス、殊ニ此絹
織物ノ織リ方、又染色ノ上ニ付テ數百年ノ歴史モ有ッテ居ルシ、又此趣味意匠ト云フ
點モ、是マデ非常ニ發達シテ居ルデアリマス、今日デハマダ生絲貿易ノ中心ハ里昂
ニアルト云フコトハ、間違ハヌ譯デアリマス、併シ此説ノ如ク近年伊太利殊ニ北部ノ
發達ハ各方面ノ工業ガ非常ナル發達ヲ來シテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、殊ニ伊國政
府ガ近年非常ナル獎勵保護ヲ加ヘテ、蠶業ノ大發展ヲ計畫シテ居ルコトモ、承知シテ居
ルデアリマス、デ伊太利ノ産業發達ノコトハ御説ノ如ク餘リ我國ニハ他ノ英獨米ト云
ウヤウナ國ホドニ、其産業ノ實況ト云フモノガ知レテ居ラナカッタノハ事實デアラウト思フ、
併シ近年ノ發達ニ際シテ殊ニ伊國政府ガ特別ナル保護獎勵ヲ加ヘテ居ル、殊ニ萬國
農事會議ヲ屢ニ開イテ、常設ノ萬國會議モ彼處ニ設置サレテ居ルト云フ次第デ、益

各方面ニ於テ發達ヲ來スコトハ分ッテ居ルシ、殊ニ此蠶種業ニ付テ最モ將來有望デア
ル、佛國ノ微々トシテ蠶種業ノ振ハヌノ比較テ、伊國ノ隆々タル形勢ノアルト云フコト
ハ最モ我國ニ付テ注目スベキコトデアリマス、デ幸ヒ今年羅馬並ニ「チユリン」ニ於テ萬國
博覽會ガ設置サレテ、我國ヨリモ多數ノ出品モアルシ、政府モ之ニ多額ノ資金ヲ出シテ
既ニ出品モ彼ノ地ニ到着シ、今ヤ開會ニ際シテ居ル際デアリマス、デ此機ヲ以テ尙此蠶
絲業ノ商業的ノ方面モ十分調査ヲ致シタイ積リデアリマス、博覽會ニ派遣シテ居ル
事務官ニモ囑託シテ、博覽會閉會後ニハ特ニ商業的ノ方面ニ付テ調査ヲスルコトニ計畫
ヲ致シテ居リマス、デ將來御説ノ如ク生絲貿易ノ中心ノ異動ト云フコトニ付テハ、大
ニ注意ヲ要スルコトデアッテ、他日商務官ノ派遣力出來タ曉ニハ無論ノ話、其邊ノ調査
ニ付テハ尙注意ヲ怠ラヌト云フ積リテ居リマス、次ニ此獨逸ノ關稅ノコトニ付テチヨット
御話ガゴザイマシタカラシテ、尙一言此時ニ御參考マデニ申上ゲテ置キタイ、獨逸政府
ガ我國ノ羽二重ニ付テ、薄物厚物ニ付テ等差ヲ設ケテ關稅ヲ課スルト云フコトハ、我
國ノ羽二重業ニ取ッテ大ナル問題デアリマス、此事ニ付テハ未ダ商務官モ居リマセヌ
デ、大使館アタリニ屢ニ往復モ致シマシタシ、大使館ノ意見等モ參ッテ居ルデアリマス
ガ、丁度此羽二重關稅ノコトハ獨逸ニ於ケル薄物ノ絹織物業者カラシテ此問題ガ起
タヤウデアリマス、等差ヲ設ケテ關稅ヲ課スルト云フコトガ、各地ニ於テ獨逸ノ南部ノ
商業會議所又北部ノ商業會議所ヨリモ亦此問題ニ付テ政府ニ迫リ、政府ニ於テハ此
等差ノ別ヲ設ケルト云フコトモ未ダ公報ハアリマセヌガ、新聞等ニ依ルト云フト愈々決
シタヤウデアリマス、併ナガラ此稅ノ適用ニ付テハ御承知ノ如ク法律ノ明文ニ依ッテ此等
差ヲ別ケタト云フ譯デアナクシテ、同一ノ品目ノ適用ヲ少シ變ヘタト云フコトデ、其變ヘ
ト云フ趣意ハ重サニ依リ變ヘタト云フコト、絹織物ノ此絲ト絲ノ間ノ間隙ガ其絲ノ太
サヨリ大キイ時ト、ソレカラ其間隙ガ絲ノ太サヨリ小サイノヲ標準トシテ、等差ヲ設ケ
ウデアリマス、其事ニ付テハ大使館アタリヨリ、彼國ノ當路者ニ向ッテ種々ナル交渉モ致
シマス、又其適用ニ向ッテハ十分コチラモ疑義ノアルトコロヲ示シタヤウデアリマスガ、
十分ナル要領ヲ實ハマダ得テ居リマセヌデ、尙此點ニ付テハ將來羽二重貿易ニ付テ少
カラヌ打擊モ受ケルコトデアリマスルカラ、此事ニ付テハ尙十分ニ調査モ致シマス、コ
チラノ意見モ彼ノ地ノ當路者ニ向ッテ參考ニ供シテ、羽二重業ノ上ニ付テ何トカ圓滿ナ
ル解決ヲ見タイト期シテ居リマス、ケレドモ未ダ十分ノ目的ヲ達シテ居ラヌデアリマ
ス、大略……

○武藤金吉君 私ハモウ一ツ商務局長ナリ農務局長ノ中カラ、御答ヲ願ヒタイト思
マスガ、此世界ノ産業ノ發達ニ伴ッテ農商務省デハ實業練習生ト云フ者ヲ大分出シテ居
リマス、此日本ニ於キマシテ講習所若クハ蠶業學校等ヲ卒業シ、其知識ノアル者ガ
此蠶業地デ向フノ事業ヲ講習所ナリ學校ナリニ入ッテヤルト云フコトガ將來内地ノ蠶業
ノ發展ニ最モ必要ナコトデハナイカト思フガ、實業練習生ハ唯商業上ノ觀察ニハ大分出
テ居リマスルケレドモ、是等ノ方法ト云フモノヲ取ッテナイヤウデアリマスガ、將來農商務
局ニ於キマシテハ、此等ノ實業練習生ハ此部面ニ向ッテヤリマスル御積リデアリマスルカ否
ヤ、之ヲ一點伺ヒタイ、モウ一ツ農務局長ニ御尋致シマス、段々質問モ重ネマシタガ、
乾燥ノコトニ付キマシテハマダナモ質問致シマセヌ、繭ノ乾燥ト云フコトハ最モ大切ナル

コトアツテ、蠶絲業法ヲ制定スルニ於テハ、少クとも一ヶ條ニ入ルベキモノデアルト思フ、然ルニ此條項ヲ拜見スルコトが出来ナイ、將來各地方ニ於キマシテ乾燥方法ハドウ云フ方法ヲ御取リニナルデアリマスカ、或ハ自然ノ成行ニ任シテ置クデアリマスカ、又乾燥器ノ如キモノカノ進歩シタ機械モ日本ニナイモノナドモアルトコロモアルヤデアリマスカ、長野縣ノ蠶絲専門學校デハ、一臺伊太利デアリマスカ、云フコトヲ承テ居リマスカ、是等ノ機械ハ化學ノ應用ノ進歩ニ伴ヒマシテ、農商務當局者ハ此乾燥ト云フコトニ付キマシテハドウ云フ方法ヲ御取リニナル御積リデアリマスカ、又蛹ヲ殺ス方法蒸殺等ニ付キマシテモドウ云フ方法ヲ取テ御ヤリニナル御積リデアリマスカ、此二點ニ付テ御答ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(大久保利武君) 傳習生ノコトニ付テ御答致シマスガ從來モ蠶絲業ノコトニ付テハ貿易以外ノコトニ付テ練習ニ行ツテ居ルモノモアリマスルノデ、獨リ生絲貿易ノミニ出スト云フ譯デアリマセヌ、技術ノ如キ又蠶絲業専門ノコトニ付テ、貿易以外ニ練習生ハ出シテアリマス、又今後モ其方面ニ就テ必要ナルコトハ無論出ス積リデアリマス

○政府委員(岡田忠治君) 尙今商務局長ノ御答ニチヨット附加ヘテ申上ゲマスガ、實ハ練習生ノ程度位デハマダ物足ラヌ氣ガスルノデスカ、一步進メテモ少シ學理ノ本ヲ極メルト云フヤウナ研究生ヲ出シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、ドウシテモ蠶病豫防ノ原理ガ分ツテ桑トカ絲ノ問題ニシテ見テモ、ヤハリ生物學ノ原理カラ追ハナイト分ラヌコトガアルヤウニ聞イテ居リマス、實際ハ何トカシテ機會ヲ見テサウ云フ方ノ研究ニモ人ヲ出シタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、マダ愈サウ決定シタイト云フ運ビニハ至ツテ居リマセヌケレドモ、免モ角モ御趣意ノヤウナ、彼ノ長ヲ探テ我ノ短ヲ補フト云ウヤウナコトニ付テ、人ヲ派遣スルコトハ、餘程大切ナコト、思ヒマスカラ、出來ルデケハ努メタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ唯今御尋ノ乾燥ノ點デアリマスガ、是ハ法文ノ中ニハ其事ハ見エテ居リマセヌガ其乾燥ヲ如何ニスルカ、將來是等ニ對シテ政府ガ取ルコロノヤリ方ハドウデアアルカト云フ點ハ、餘程大切ナ問題デアリマシテ、一方カラ言フト共同乾燥ト云フヤリ方ニシテ、小サイ農民ガ拵ヘタモノヲ共同的ノ施設ニ依テ乾燥サセルト云ウコトモ、經濟上カラハ餘程都合ノ好イコトデアリマスカラ、是非ソレヲ進メテ行クト云フ考デアリマスケレドモ、又一方カラ言フト製絲家ハイロ／＼自分ノ流義ガゴザイマシテ、サウ乾燥シタモノハ己ノ方デハ引キ惡イ、又生デハ尙イカヌ各製絲家ニハ一種ノ祕訣ト稱シテ居ルコトモゴザイマスカ、必ズシモ共同乾燥ノ方法ニ依テソレヲ製絲家ノ方ニ送ルト云フコトニスルコトガ宜イト云フコトモ申シ惡イ、各一種ノ祕傳トカ祕訣ト申シマスガ、流義ガ違フト云フコトヲ聽イテ居リマス、併ナガラ大體政府ノ考ヘテ居ルコロデハ、其製絲家ガ自ラ乾燥ヲ行クト云フコトモ、又金融關係等カラ考ヘテ見マシテモ、ソレヲ倉庫ニテモ同乾燥ヲシテ行クト云フコトモ、大變金融ノタメニ都合ガ宜イ、マアソレ等ノ點ハ土地ノ狀況ニ應ジテ行カナイト、必ズ斯ウ云フ方針ヲ探ルト云フコトヲ極メルト、ドウモ習慣等ガ違フテ居ルノデ、製絲家ニ打撃ヲ與ヘルト云フコトモアリマスカラ、區別ハ付ケヌナラヌト云フコトハ、大體共同乾燥ナドハ大ニ進メテ行キタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス

ス、現ニ府縣アタリデモ是等ニ對シテ補助案ヲ與ヘテ居ル例ガアリマス、ソレカラ機械等ハドウスルカ、是ハイロ／＼機械モ澤山出來テ居テ、特許ヲ得テ居ル數モ隨分多クアリマスガ、是等ハ十分デアルト云フ理想的ノモノハマダ日本ニハ出來テ居ラヌ、各種ノモノヲ使ツテ居ル模様デアリマスガ、尙之ニ付テハ餘程研究ヲ重ヌル必要モアラウト思フ、ソレデハ農具ノ改良ノ一ツトモ言ハレマスカラシテ、斯ウ云フ事柄ハ此度豫算ニ取ツタコロノ農具ノ改良費ト云フ中カラ、研究ガ出來レバヤッデ見タイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、外國カラ取寄セルカト云フ點ハマダ其處マデハヤッテ居リマセヌケレドモ、到底是等ノ研究ヲ進メテ行クニハ、佛蘭西ナリ伊太利ナリノモノヲ取寄セテヤリタイト云フ考ヲ有シテ居リマス

○農商務技師芳賀權四郎君 御答致シマスガ、殺蛹ノ方法乾燥ノ方法ト云フモノハ相關聯シテ居リマシテ、ドウシテモ最初ハ蟲ヲ殺スト云フ手段ヲ取ラナケレバナラヌ、此際ニハ少シ溫度ヲ高メテ蟲ヲ殺シ、ソレカラ乾燥ハアマリ溫度ヲ高クスルト絲質ヲ害スル恐れガアリマス、是ハ殺蛹ト乾燥トニハ溫度ノ別大抵ノ製絲家ハ著ケテ居リマス、元來物ヲ乾カスト云フコトハ私ガ申上ゲルマデモゴザイマセヌ、熱ヲ與ヘルト云フコトハ絶體ニ必要ナ條件デハナイノデアリマス、唯物體ヲ含ンデ居ルトコロノ水分ヲ氣體ニ變ズルト云フ手段ニ火カヲ用井ルノデアリマスカラ、後其水分ヲ——空氣中ノ濕タトコロノ空氣ヲ早く取去ルト云フコトガ、一番乾燥ノ目的トシテ居ルコトデ、最初ハ蟲ヲ殺シ、サウシテ後ハ物體ニ含マレテ居ルトコロノ水ヲ蒸氣ニ變ヘル、ソレガ爲ニ火熱ヲ加ヘルノデ、後ハ包含シタトコロノ空氣ヲ早く取去ルト云フ方法デ今日乾燥器ハ考案サレテ居リマス、其目的ニ向ツテハ空氣ヲ取去ルト云フ方法ニ付テハ、マダドウ乾燥器モアマリ理想的ノモノハ無イノデアリマスガ、今日ノトコロデハ林式或ハ中川式ト云フノガ先宜カラウト云フコトニナツテ居リマス、デ乾カス方法トシテハ製絲家ニ依テ蛹ヲ殺シテカラ直チニ引續イテ乾カスノガ宜イト云フ意見ヲ有シテ居ル、製絲家モアリマスシ、或ハ蟲ヲ殺シタナラバ一度其仕事ヲ終ツテ暫ク置イテカラ乾燥スル、此方ガ宜イト云フ説ト二ツニナツテ居リマス、併ナガラ之ヲ屢々數回ニ分ツテ乾燥シ終ルト云フコトハ、害ガアルコトハ一般ガ認メテ居リマス、デ今日ノトコロデハ殺蛹ト乾燥ト一度ニスルト云フコトハ大抵ヤッテ居ルノデゴザイマス、是ハ何故カト云フト乾燥器ノ設備ノ足リナイタメニ已ムヲ得ズ殺蛹ト乾燥ハ同様ニヤッテシマウ、是ガ先ツ宜カラウト云フコトニ大抵一致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ地方ニ依テハ殺蛹ヲ先ニヤリ後カラ乾カスト云フ、此二ツノ手段ヲ取ツテ居ルトコロガ多イノデアリマス

○高木正年君 私ハ此生絲貿易ニ付テ今少シ承ツテ置キタイト思フ、ト云フノハ近來直輸ノ上ニ於テ種々困事實ガ起ルコトヲ承ツテ居リマス、ソレデ近來ヒドク此賣直ニ付競争ヲスル、ソレガタメニ折角賣レベキモノモ相當ノ直ニ賣ラズシテ、安ク賣ルト云フ傾キガアルコトヲ承ハッテ居ル、一年ニ一千万圓以上賣テ百何十圓シカ利益ガナカッタ、是ハ東京ノ極ク附近ニサウ云フ事實ガ行ハレテ居ル、現ニ横濱ノ或生絲賣込商ノ中ノ直輸入ヲヤル人、若クハ東京ノ森村組是等ノ人以外ニモット勢力ノアル商館ガ、非常ニ賣込ヲ競争スルタメニ直輸ヲ手ヲ束ネテ其損失ヲ待チツ、居ルヤウナ狀態ニナツテ居リマス、現ニ一昨年アタリノ狀況ハサウデアアル、之ニ付テ何トカ斯様ナコトヲ起ラヌヤウニ、農

商務省ノ方デ此邊ニ付テ相當ナ手段ヲ取ルベキコトガナイノデアリマセウカ、定メテ此事ニ付テハ諸君モ御承知ニナッテ居ル事實デアリマセウカ、殊ニ昨年アタリハ此事ハ強ク行ハレテ居ル、其事實ヲ申上ゲマスレバ、三井物産ト云フモノガ頻リニ競争シテ居ル、ソレガタメニ他ノ生絲賣込商ハ損ガシ切レナイト云フ狀態ニナッテ居ルト云フコトヲ承テ居ル、是等ニ對シテ救済スベキ方法ガアリマセウカ、橫濱ノ生絲取引所ト云フモノニ付テハ、生絲ノ貿易ノ上ニ頗ル困タコトガ出來ルト云フコトヲ聞イテ居ル、ソレハ生絲ヲ歐米ヘ持ッテ行クニハ、此間ドウシテモ六十日カ、日本ノ其當時ノ相場ヲ買ッテ行ク其後デ橫濱ノ生絲ヲ安ク賣ラレルト、ソレガタメニ持ッテ行ク生絲ガアチラヘ届イタ時分ニハ、橫濱ノ相場ガ下ッテ賣先ニ困ル、斯ウ云フコトヲ聞イテ居ル、ソレカラ又橫濱ノ生絲取引所ハ害アリトモ益ガナイト云フコトヲ一部ノモノハ認メテ居ル、或ハ一般ノ人ガ認メル時機ニ至ルカモ知レマセウカ、之ニ付テ當局者ノ御考ハ如何デアリマスカ、更ニモウ一ツ御尋シタイノハ、獨リ生絲ノ貿易ノミニ之ヲ依頼シマシタナラバ、將來生絲ノ價格ト云フモノニ付テハ必ズヤ或時期ニ至ッテ損失ヲ來スヤウナコトガナイトモ限ラヌ、生絲ノ賣先ガ十分デナカッタナラバ、蠶業ノ盛衰ニ關係ヲ及ボスデアリマス、私ノ希望ヲ言ヘバ之ヲ織物トシテ賣ルノハ一番宜シイデアルケレドモ、織物ニ致シマセヌデモ生絲ヲ染メテ海外ニ賣ルト云フコトニ付テ、農商務省ガ調査セラレタコトガアルヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、今日伊太利ガ生絲ノ中心點ニナルノハ、產出ガ多イバカリアハナイ、佛蘭西ハ織物トシテ世界ニ誇ルベキトコロデアリマスケレドモ、佛蘭西ニ於テ使用スル生絲ハ如何ナル方法ニ於テ持ッテ行クカト云フニ、決シテ生絲ノ儘デハ佛蘭西ニ入ッテ居ラナイ、染絲トシテ多クハ入ル、是ハ武藤君モ御承知デアリマセウカ、斯カル狀態デアル、伊太利ハ生絲ノ中心點デアッテ又染絲ニ依テ生絲ノ貿易ハ段々盛シナル、我國ハ幸ニ伊太利ト同ジ地形ヲ有シテ居ル、伊太利ハ火山系デ半島國デアル、我國モ火山系ノ半島國デアル、湖水モ多イ又水ノ良イコトモ伊太利ニ酷似シテ居ル、ソレ故ニ東洋ノ伊太利ト云ッテモ宜イ、此地形此水ヲ利用シテ、一ツ日本生絲ヲ酒シテ染メテ之ヲ出スト云フコトニ致シマシタナラバ、將來日本ノ生絲貿易ニ多大ノ利益ガアルト思フ、此邊ニ付テハドウ云フコトヲ研究シテ居ラル、カ、此三點ニ付テ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員(大久保利武君) 唯今高木サンカラ競争ノ餘リニ生絲貿易ガ甚ダ利益ガ薄イコトニナルガ、其邊ニ付テ何等カ矯正ノ途ハナカラウカト云フノガ第一ノ御問ノヤウニ承知致シマス、此貿易ノ上ニ付テ貿易業者ガ動モスルト競争ヲシテ直段ヲ下ルトカ言フヤウナコトノ行ハレルノハ、各商品ニ付テサウ云フ弊ノアルコトハ御同様甚ダ痛歎致シテ居ル譯デアリマス、是ハ獨リ生絲ニ限リマセヌ、他ノ品物ニ付テモ此弊ニ陷ッテ、甚ダシキハ其タメニ產ヲ傾ケル者ガアル、是ハ生絲貿易ニ付テ獨リ斯ウ云フ弊ガ存シテ居ルノデアリマセヌ、各商品ニ互ッテ斯ウ云フ弊ガアル、此矯正策トシテハ、或ハ組合ヲ結ンデ互ニ一致團結シテ、無暗ニ濫賣ヲセヌヤウニ、又價格モ區々ニシテ之ヲ賣ラヌヤウニ、或ハ同業組合トカ又ハ適當ナ團體ヲ組織シテ、氣脈ヲ通シテ相當ナ價格ヲ以テ之ヲ賣捌クト云フ申合セラシタラ宜シイダラウト思ヒマス、又資金ノ乏シイ點ニ向ッテハ然ルベク金融ノ途ヲ講シテヤルトカ、又ハ開港場ノ貿易業者ガ商品ノ產地ノ生産者ト氣脈ヲ通シテ相互ノ利益ヲ見テ互ニヤルト云フコトニシタラ宜クハナイカト云フコト

モ、機ヲ見折ニ應ジテ獎勵シテ居リマスガ、時ニ臨ンデ或ハ亞米利加ノ不景氣ノタメニ餘リ價值ガ上ラヌ、或ハ供給過剰ニナッテ價值ガ保タヌ、少シ景氣ガ宜イト生絲ヲ多額ニ輸出スルタメニ、出ルベキ價モ出ルコトガ出來ヌノデ、空シク荷ヲ擔シテ之ヲ賣捌クノ途ガナイ、又賣捌カントスレバ甚ダ薄利或ハ損ヲスルト云フコトモ出來テ來ル、併シ斯ウ云フコトハ一方ニ於テハ相當ノ策モ施シマセウカ、大體ヲ申上ゲルト、ドウモ商業ノ上ニ景氣不景氣、生産過剰供給過剰ト云フヤウナコトハ、始終世界ノ經濟ノ上カラ關係致シマスノデ、全ク斯ウ云フコトハナイヤウニスルト云フコトハ甚ダ困難デアリマス、併シ出來得ル限りハウレニ處スル途モ攻究シテ行カケレバナラヌコトハ無論ノコトデアリマス、又取引所ノ效用ニ付テ、寧ロ生絲貿易ニ害アルモ益ナシト云フ評モアルガ、斯ウ云フコトハドウ見テ居ルカト云フ御尋デアリマスガ、成程サウ云フ非難モ時々生ジテ來マスノデ、既ニ一昨年デアリマシタカ、亞米利加ノ大恐慌ヲ來タシタ際ニ俄ニ生絲ノ需用モ下リ價格モ非常ニ下落シタ際ニ於テハ、殊ニサウ云フ非難ガ起ッタヤウデアリマス、無論取引所ニ於テ時々人爲ノ相場ヲ以テ賣崩スト云フヤウナ事モアッテ、其タメニ真正ナル當業者ガ甚ダ迷惑ヲ蒙ルコトモ決シテナイデハナカラウケレドモ、取引所ノ效用ト云フ上ニ付キマシテハ、又一ツ考ヲ要スルコトデハナイカ、此橫濱ノ生絲取引所ハ貿易ノ上ニ付キマシテハ尠ナカラヌ効能ヲ爲シテ居ル、例ヘバ地方ノ製絲家ナリ當業者ガ將來ノ價值ヲ豫想シテ先賣ラヌル、又生絲取引所ノアルタメニ亞米利加歐羅巴邊アタリノ經濟上ノ需用供給ト云フモノガ、觀面ニ相場ノ上ニ現ハレテ公定相場ヲ標準トシテ貿易モシ、又生産家モ其公定相場ニ依ッテ賣買ラヌルト云フ如ク、一面カラ云ウト貿易ノ上ニ付テ尠ナカラヌ効用ヲ爲シテ居ルノデ、一概ニ害アルモ益ナシト云フコトハ如何デアラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ時ニ依テ人爲相場ノタメニ公定相場ガ亂レルト云フコトモ、一時ノ現象トシテハ是ハ否ムノデアリマセウカ、或ハ此取引所ノ効能ト云フコトニ付テ全然其効能ヲ沒却スルコトモ出來マイト考ヘテ居リマス、併シ人爲相場ノタメニ市場ヲ攪亂シ又貿易ヲ阻碍スルト云フコトハ決シテナイデハナイノデ、既ニ先年モサウ云フ場合ガアッテ、一時取引ヲ停止シタコトモアリマス、其邊ニ付テハ監督上ノ問題デアリマシテ、注意ヲ要スルコトデアリマスガ、取引所ノ貿易ニ對スル効能ト云フコトモ御考ヲ願ッテ置キマス、ソレカラ生絲貿易ヲ生絲ノ原料デ出サズニ或ハ染メテ製品ニシテ、種々ナル加工ヲ施シテ出スコトモドウ考ヘテ居ルカト云フ御尋ト承知致シマシタガ、是ハ御尤ノ御說デアリマシテ、一面ニ於テ世界ノ需用ヲ充タメニ、蠶絲ノ整理統一ヲ圖ルト云フコトハ無論デアリマスガ、又一面ニ於テハ或ハ之ヲ羽ニ重ニシ或ハ他ノ織物ニシ、若クハ之ニ加工シ染物ニ致シテ輸出スルコトハ、政府トシテ頗ル有望ナル事業ト考ヘテ居ッテ、相當ノ保護獎勵ヲ加ヘタイ考デアリマス、既ニ橫濱ニ於テモ羽ニ重ノ形付トカ、之ヲ染メテ輸出スルト云フ業モ段々起ッテ來ルヤウデアリマス、其他群馬縣ノ織物業地、其他福井京都邊ニ於テモ此染織ト云フコトニ付テ、段々著目シテ來ル趨勢モ見エテ居リマスカ、羽ニ重ノ形付デアルトカ殊ニ東洋其他未開ノ地ニ向ッテ、相當ナル染織ヲ加ヘテ輸出スルト云フ如キハ、頗ル有望ナル事業トシテ十分攻究致シタイ考デアリマス

○吉植庄一郎君 一ツニ御尋シタイガ、或ハ重複ニナッテ居リマセバ、後デ速記録ヲ拜見シマスルデ、重複デアルト云フコトヲ仰ッテ戴キタイト思ヒマス、ソレデ私ガ御問

申シテ置キタイコトハ、今回此法案ヲ御提案ニナツタ趣意ト關聯シテ、他ニ重大ナル關係有スベキ問題ガアルカラ之ヲ聽クノデアリマス、今回政府ハ一方ニ於テ勸業農工銀行ノ改正法案ヲ議會ニ提出シテ協賛ヲ求メツ、アリマスガ、其趣意ハ地方ニ於テ零碎ノ貯金ヲ吸收スル、頻リニ郵便貯金ノ獎勵ニ依テ吸收スル、ソレニ依テ集メタ金ヲ地方ニ還元スル、所謂腦充血ノ嫌ヲ避ケテ、努メテ地方ニ於テ貯金シタ金ヲ地方ニ分配シテ、産業ノ發達ニ資スルコト云フコトが趣意ニナツテ居リマス、今回此蠶絲病ノ豫防法及蠶絲業法、總テ一括シテ此ニ御提案ニナリマシタ大體ノ趣意ハ、度々御說明ニ依テ能ク分テ居リマスガ、蠶絲統一ヲシテ大ニ斯業ノ發達ヲ助ケルト云フ大趣意ハ深ク之ヲ諒スルノデアリマスガ、幸ニ此勸業農工ノ如キ銀行法ノ改正ヲシテ、從前ノ窮屈ナル貸出規定ヲ廢シテ擔保品サヘアレバ自由ニ貸出ノ出來ル不動産銀行的ノモノニシヤウト云フ、一言ニシテ言ヘバ極メテ貸出ノ手續ヲ簡易ニ致シテ、金融ノ疏通ヲ圖ルト云フコトデアリマスガ、今回此ニ御提案ニナツタ案ト此銀行ノ改正法案トニ付テ、何等カ蠶絲業ノ發達ニ資スルガタメニ勸業農工銀行ノ改正案ヲ出スコトノ材料トシテ、相聯關シタルコトアリヤ否ヤ是ガ一ツ、ソレカラ若シ聯關シテ別ニ御研究ニナツタコトガナケレバ、此ノ如キ絶好ノ機會ヲ何故ニ農商務省ハ捕ヘテ、此改正ヲ企ル場合ニ養蠶業者並ニ製絲業者等三十二分ノ利益ヲ均霑セシムル方法ヲ執ラザリシカ是ガ第一問デアリマス、ソレカラ第一第二ノ御答ニ聯關シマスルノデ、モウ一ツ附加ヘテ置クガ、第一第二ノ御答ニ依テ自然第二問ハ消滅シテ不必要ニナルカ知レマセヌ、併シ度々立ッハ面倒モアリ御迷惑ト思ヒマスカラ序ニ附加ヘテ置キマス、若シ農商務省ハ此銀行法ノ改正ニ對シテ何等注文スル必要ナク、何等計畫スル必要ナシト云フ見地ニ立タレテ居ルナラバ、御尋モシナケレバナラヌノハ農商務省ハ現在ノ金融機關ニ依ッテ、今ノ蠶絲業ノ發達ヲ助ケルニ満足シテ居ラル、ノデアルカ、若シ満足シテ居ラル、ト云フナラバ、現在勸業農工銀行等ニ依テ養蠶製絲ト云フモノニ貸出サレテ居ル金額ハドレダケアルカト云フコトヲ御調ニナツテ居ルカ、其生絲貿易ニ於テハ正金銀行及日本銀行等ニ依ッテ融通ノ途ガアリマセウガ、生産地ニ於テ如何ナル方法ニ依ッテ満足シテ、此資金ヲ供給サレツ、アルヤ否ヤト云フコトノ御調ニ付テ御話ヲ伺ヒ置キタイ、ソレハ此質問ヲ出ス所以ノモノハ、極メテ重大ノ關係ヲ有テ居ルカト思ヒマスノデ、眞ニ今回ノ改良ノ御趣意ハ結構ノ御趣意デ立案サレテ居ルガ、此政策ト相聯關シタル方面ニ何等研究ヲ企テタコトガナイトスレバ、此機會ニ於テ進シテ當局者ノ意見ヲ聽イテ、此勸業農工銀行ノ改正案ニ向テ此方ノ趣意ヲ幾分徹底シタイ考ヲ以テ質問スルノデアリマスカラ、其御答デドウカ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 勸業農工銀行ノ改正案ト蠶絲業法案トハ、直接ニハ關係ハゴザイマセヌガ、唯今御話ノヤウナ低利資金ヲ地方ニ供給スルコト云フ上ニ就キマシテハ、地方ノ産業發達ノ上ニ資スルタメニ出スノデアリマスカラ、勢ヒ蠶絲業モ其利益ニ均霑スルコトハ勿論デアリマス、併シ特ニ蠶絲業ノタメニドウト云フ考ヲ以テ彼ノ銀行法ヲ改正シタト云フコトハアリマセヌ、御承知ノ通り是マデ農工業ニ貸出シテ居タトコロノ制限ヲ撤廢シテ、少シク營業ノ範圍ガ擴タト云フニ過ギナイノデアリマスカラ、從ッテ彼ノ法律改正案ハ此法案トハ直接ノ關係ハ有シテ居リマセヌ、然ラバ何故ニ此機會

ニ於テソレニ關係ヲ付ケナカッタコト云フヤウナ御問ノヤウデゴザイマスルガ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ此蠶絲業ノ發展ヲ期スルコト云フ此機會ニ於テ、何故ニ蠶絲業ノ金融ト云フコトニ付テ著眼シナカッタコト云フヤウナ御問ニ承リマシタガ、是ハ大ニ著眼シテ居ルノデアリマス、如何ニ經營計畫ヲナスモ、是ガ運轉ヲナス資本ガナケレバ事業ノ發展ハ出來ナイト云フコトハ勿論ノコトデアリマス、政府トシテモ將來此蠶絲業ニ付テ非常ニ進歩ヲ圖ル上ニ於テ、最モ注意スルコトハ緊要ノ點デアルト云フノデ、及バズナガラ大ニ是ガ研究ニハ怠ラヌノデアリマス、御承知ノ如ク蠶絲業ノタメニ獨立ノ銀行ヲ立テヤウト云フヤウナ議論モ前々カラアルコトデアリマスガ、是モ一ノ考デアラウト思ヒマシテ研究シ、其他金融ヲ圖ル方法ニ付テハ廣ク各方面カラ講究シテ居リマスガ、直ニ此ニ具體的ノ方法計畫立派ナル議論デアリマスガ、諸君ガ實行ニ付テハ隨分困難ガアリマス、ト云フハ或一定ノ期間大變忙シクシテアトハ閑デアルト云フノデ、ソレダケヲ目的トシテ銀行ヲ造ルト云フト、其銀行ノ營業ガ立派ニ立ッテ行クカドウカ甚ダ疑問デアリマス、而モ現在ニ於テハ日本銀行ニシテモ地方ノ銀行ニシテモ、此生絲養蠶ニ付テノ金融ハ經濟上ノ自然ノ結果運轉ガ能ク行ッテ居ル、唯悲イカナ利ガ高イト云フコトハ免レマセヌガ、免ニ角相當ノコトハ出來テ居ル、何トカ或ハ資本ノ利子ヲモウ少シ低利ニスルニ付テ餘程考ヘナケレバナラヌト云フコトヲ思ウテ居リマスケレドモ、サレバテ獨立銀行ヲ立テ、是ニ補助ヲヤリ、特權ヲ與ヘルト云フコトヲシテ行クハ、半面ニ於テ其目的ヲ達スルカ知レマセヌガ、半面ニ於テハ其銀行ノ營業ガ立タヌト云フコトニナツテ來ルノミナラズ、無論大藏省ニ大關係ガアルカラ、餘程鄭重ナル研究ヲ要スルノデゴザイマス、要スルニ低利ナル資金ヲ養蠶業家タルコロノモノニ貸スルコト云フコト、大製絲家ナル其他ノ人ニ多ク貸スルコト云フコト、一ツニナツテ居リマスガ、小サイ方ニ貸スニ付テハ産業組合ノ組織デアレバ往ク考デ、是等ノ點ニ力ヲ盡シテ居リマス、現ニ昨年ニ於テハ百萬圓ハ産業組合ニ貸シ、本年ハ更ニ一層多ク貸ス、郵便貯金ヲデス、サウ云フ方法デアッテ往クナラバ確カニ成功スル見込デアリマスガ、大キナ製絲家ナリ其他大資本ヲ要スル人ニ供給スルコロノ金融機關ノ點ニ於テハ、今申シタ特別ノ銀行ヲ設ケルモノ一ツノ案デアラウガ、其他ノ方面ニ於テ一層研究ヲ要スル、此機會ニ何カ金融ニ關スルコトニ付テ計畫ヲ立テナンダノハ甚ダ残念ノヤウデアリマスルケレドモ、已ムヲ得ナイ狀態デアリマスカラ、其邊ハ御諒承ヲ願ヒマス

○吉植庄一郎君 私ハ唯今ノ御答辯ハ頗ル遺憾トスルノデ、御答ニ依テ見ルト別段何等ノ交渉ヲシテ見タコトガナササウニ ナイト云フコトガ明デアル、成程唯今特別ノ特殊銀行ヲ拵ヘルトカ拵ヘナイトカ云フ未來ノ問題ハ幾ラモアルデアリマセウ、アリマセウガ幸ヒサウ云フ機會ガ爰ニ到著シテ居タ場合ニ、何等同シ政府部内ニ居リナガラ、此問題ニ付テ相談ガ無カッタ工夫ガ無カッタト云フコトハ如何ニ巧妙ニ御說明ニナツテモ、當局者ノ手ヌカリデアッタト云フコトハ申譯ニナルマイ、責メル譯デハナイケレドモ甚ダ遺憾ナリトスル、法案ト法案ハ全ク別箇ノモノデアッテ、何等關係ノナイモノデアリマスルケレドモ、政府ノ爲ストコロガ此ノ如ク統一ヲ缺クノハ誠ニ遺憾ナコトデアリマス、殊ニ今回提案ニナツタモノニ依リマスルト、イロ／＼組合ヲ拵ヘテ隨分斯業者ヲ責ムルコトハナカ／＼

念が入タ方法が出来テ居ル、責ムルト云フト語弊ガアルカ知レマセヌケレドモ、督勵スルニ於テ寧ろ過ギタル提案ニナツテ居ル、又一方カラ見マスルト蠶種製造人ナドニ對シマシテモ、今マデ金ヲ取ラナカッタモノヲ手數料モ取ルト云フコトニナツテ、是亦相當ナル負擔ヲ新タニ生ゼシメルヤウニナツテ居ル、斯ウ云フ方面ニハ能ク御氣付キニナツテ居ラレルケレドモ、此事業ノ油トナルトコロノ資本供給ト云フコトニ付テ考ヘテバカリ居テ、絶好機會ニ何等提案モセズ、何等相談モシナイト云フニ至ッテハ言ヘナイ、今デモ御氣付ケバ遲クハナイト思フコトハ、此提案ハ今原案ニナツテ議會ノ審查ニ屬シテ居ルモノデアリマス、幸ヒ今回ハ郵便貯金モ非常ニ増加シテ、預金部ガ勸業農工銀行ニ對シテ多大ノ資本ヲ貸付ケルコトが出来ル狀態ニナツテ、此狀態ノ下ニ改正ヲ企テラレタノデアル、此資本ヲ如何ニ運用スルカニ對シテ、今後地方ヘ大ナル金ヲ供給シ得ル機會ニ到來シタニ付テ、此資本ヲ如何ニ運轉セシメルカト云フコトガ眼目ニナツテ、今回ノ改正ヲ提出サレタルデアル、學者ノヤツテ居ル唯机上ノ議論ノミデハ政治家ハ役ニ立タヌ、幸ヒ到來シタ機會ヲ捉マヘテ實行スルガ政治上ノ活キタ効能ヲ爲スノデアルガ、今研究ヲシテ居ルトカ攻究シテ居ルトカ云フコトハ、學者ニ委セテ置ケバ宜シイノデアツテ、政治家ハサウ云フ迂遠ナコトヲヤツテ居テハ問ニ合ハナイ、幸ヒ今提案サレテ居ルノハ金ヲ如何ニ使ハセヤウカ、如何ニ銀行法ヲ改正シテ國民ニ運用サセヤウカト云フコトガ其目的ニナツテ提案サレタル、然ルニ一方ニ於テハ大ナル日本ノ事業ヲ大發展ヲ試ミヤウト云フニハ、大計畫ニ伴フ金融ノコトハドウシテモ是ニ伴ハシメル工夫ヲスルト云フコトハ、當局者ガ當然爲スベキ仕事デアル、此仕事ニ對シテ何等相談モセズ、何等工夫モシナイデ、省ガ違フカラ大藏省ハ己ノ方ト關係ナク、相談ナシニスルト云フニ至ッテハ甚ダ不親切ダト思フ、是ハ今此提案ニナリマシタモノ、中ニ於テモ、何等カノ工夫ヲシタナラバ、大藏省ノ法案モ今改正案ハ討論中——質問中デアル、斯ウ云フ場合ニ氣付イタルハ遲クテモ決シテ遲カラズ、是ハ國家ノタメニ親切ニ考ヘルハ委員會ノ妙用ガ此ニ存スル、サウ云フ金ヲ今自由ニ使ハスベキ途ガアツテ、金ヲ十分貸出ス機會ニ到著シテ何トカシテ蠶業製絲業者ニ資金供給ノ途ヲ幾分ナリトモ開イテヤルト云フコトハ、誠ニ此案ヲ決行スル上ニ於テ親切ナルヤリ方デアル、當然セネバナラヌコトデアラウト思ヒマスカラ、是ハドウカ攻撃ノ御話ヲスルノデアリマセヌ、願クハ政府當局者ハ大臣等トモ御相談ノ上、此問題ニ付テハ篤ト廟議ヲ盡サレテ、今一遍大臣ヨリナリ此御答ヲ得タイト思ヒマス、是ハ實ニ切望ニ堪ヘナイノデアリマス、如何デアリマス

○政府委員(下岡忠治君) 段々御注意ノ點ハ尙大臣ニ能ク承リマシタ上御答致シマスルガ、併シ低利資金ヲ地方ニ多クヤル結果ハデス、前ニ申シマシタ通り産業組合ナリ或ハ各種ノ事業ニ對シテヤルコトニナリマスカラ、從ッテ其金ガ多クシテ此蠶絲業ノ方モ均霑スルコトハ、自然多クナルノハ無論デアラウト思フ、特ニ製絲業ニ付テ製絲家ニ特別ニ是ダケ貸ス、或ハ製絲家ニハ特ニ斯ウスルト云フコトハ餘程困難デアラウト思ヒマス、兎ニ角低利資金ガ多クナツテ、地方ニ散布セラレルノガ多イ結果トシテ、製絲業者タルモノモツレバ多ク受ケルデアラウト云フコトハ自然ノ結果デゴザイマスカラ、法律デ之ヲヤルコト云フコトニナルト、或ハ特殊ノ團體ヲ設ケルトカ何トカ別ノ工夫ヲ考ヘナケレバナラヌコトデアリマスカラ、御名案ガアレハ十分ニツレバ承ハリタイト思ヒマス、チヨット政府デモ今

考ヘテ居ルトコロデハ特殊ノ案ハ考ヘ物デアラウト思フ、併シ御名案ガアレハ承ッテ置キタイト思ヒマス

○吉植庄一郎君 名案ノ有無ニ至リマシテハ、如何ニ今名案ヲ持ッテ來タトコロデ政府デヤラナイ積デアレバ仕方ガナイカラ、大臣トモ御相談ヲ願ヒタイト云フノデアル、敢テ名案モ名案デナイモナイト思フデ居ル、ツレテ段々必要トナラバ水産資金ヲ供給スル必要ヲ生ジタスレバ、勸業銀行法ニ向ッテハ水産ニ貸スト云フコトモ昨年出タ之モ水産特種銀行ヲ拵ヘタラ宜カラウト云フコトニ付テ、大ニ議論ガアリマシタガ、ナカク、特種銀行ヲ拵ヘルト云フノハ銀行法カラ云ツテモ面倒デアルカラ、議會ノ協賛ヲ經テ水産業者ニ金ヲ貸スト云フコトニナリマシタ、此近キ例ニ依テ見マスルト政府ニ意思サヘアレバ、銀行業者ニ多大ノ國ガ結果ヲ與ヘ、營業ノ範圍ノ自由ヲ許スト云フヤウナ大ナル利權ヲ與ヘ、便宜ヲ與ヘテ一方ニ責任ヲ負ハセル、保護銀行特種銀行ハ極メテ容易ニ出來ル、玆ニ政府ガ必要ナリト認メナバ二三日モ調ベレバ直ニ出來マス、今政府委員ガ答ヘラレタ通り、特殊銀行ハドウト云フコトハ平生研究ヲ怠ッテ居タラバ、當然左モアルベキコトデアルガ、簡單ニ條文ノ中ニ方法ヲ書加ヘテモ、私ハ出來ルノデアラウト思フヤル積リデアルナレバ、是ハ出來ル、先以テツレデアリマスカラ要點ハ此機會ニ於テ政府ハ此銀行ニ割込シテ、蠶業ニ金ヲ貸ス途ヲ開クト云フ頭ナレバツレハ御相談デ、私モ愚案ヲ呈シマス、御相談デ直グデモ出來ヤウト思ヒマス、今御説ノ通り全般ニ資金ガ廻レバ金融ガ好クナルト云フ是ハ一般ノ經濟論デ、其通りニ相違ナイガ、ツレナレバ特殊ニ玆ニ此業ヲ盛ニ發展シナケレバナラヌト云フ理由トハ見ニクイ、サウ云フ言葉尻ヲ捉ヘル譯デハナイガ、サウ云フ頭デアナタガ歸ッテ大臣ニ相談ニナツテモ往カヌ、私共ノ切望スルトコロハ折角ノ機會ニ於テ——普通農業法ニハ斯ウ云フコトヲ與ヘテ居ラヌ不動産ハ田畑ト云フモノガ低當デアルトコロガ、養蠶製絲ハ必ズモ田畑ノ抵當ニ依ラヌノハ窮屈過ギハシナイカト思フ、何トカ擔保品——蠶種業者ノ擔保品ニハ斯ウ云フモノヲ擔保ニスルコトが出来ルト云フダケデモ宜イト思フ、ドウカ一ツ……

○委員長(野田卯太郎君) ドウデス、ツレハ此會ノ希望トシテハ諸君ニ御異議ガナケレバ……

○武藤金吉君 唯今吉植君ノ御話ニ附加ヘテ置キマスガ、名案ハナイカト云フノデアルガ名案ガアルト思フ、ナゼナレバ擔保品ト云フコトヲ吉植君モ仰シヤイマシタガ、此蠶絲ニ付テ例ヘハ倉庫證券ノ割引ヲスルトカ、又倉庫證券ヲ發行シテ貸ストカ、如何ニシテモ今日ノ生絲ハ一割内外ノ高利ノ金ヲ借りテ居マス、是故ニ製絲家モ養蠶家モ資金ノ金利ヲ三乃至五六厘位ニ借ルヨリ外ニ餘地ハナイカラ、此方法ハサウ云フカシイ問題デアナイト思フ、既ニ農商務省アタリデモ、再三御熟慮ニナツテ居ラウト思フカラ、先達モチヨット私カラ諸君ノ御手許ニ豫メ配付申シマシタガ、農商務省アタリニ報告ニナツデアリマシテ、本年ニ於ケル伊太利ノ蠶業者ノ政府案ガ一月ノ議會ニ出マシタノヲ見マスレバ、眼目トシテ低利ノ資金ノ必要ナルコトヲ明ニ其餘項ヲ加ヘテ居リマス、是ハ私共ハ何等カノ方法ニ依テ、此蠶業ノ金融ニ付テヤリタイト云フコトハ、之ニ率聯シタ主要ナル問題デアリマスカラ、希望トシテサウシテ要求スルコトニ致シマス

○委員長(野田卯太郎君) 是ハ御相談デアラウト思ヒマス、實ハ討論ノ時ニ希望ヲ

述ベルが宜シイケレドモ、時期ヲ失スルカラソレテ希望ナレバ農商務大臣ニ交渉ヲシマス
カラ、ドウガ委員長及理事ニ御任セテ願ヒマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○久保田與四郎君 今吉植君ノ質問ガアリマシタカラ、私共ハ蠶業ヲ保護スルコトニ
付テハ、私ハ他ノ方面カラ此發展ヲ計ルト云フ一事ヲ貫徹スル上ニ於テ、他ノ方面カラ
質問ヲシタイ、ソレハ此條文ニ依リマシテ討論ヲ致シタナラ分リマセウ、併シ吾々素人デ
アリマスカラ十分ニ研究ヲシナイカラ、寧ロ此場合經驗ナル政府ノ御方ニ質問スルガ
相當ト思フ、蠶絲ノ大發展ヲ計ルトコトハ政府ノ方針ナル、此蠶絲ト云フモノニ關スル
實業者ノ、例ヘバ何程ノ畑ヲ持テ居テ何程ノ蠶ヲ拵ヘ、何程ノ繭ガ出來テ、其繭ヲ
賣リ若クハ絲ニスル、此蠶絲業ニ關スル一般ノ統計ト申シマセウカ、或ハ利益ト申シマ
セウカ此蠶絲業ニ對シテハ隨分例ヘバ營業者ハ地租モ拂ハネバナラヌ、營業稅モ拂ハネバ
ナラヌ、又所得稅モ拂ハネバナラヌ、又其外此案ガ通過シマスレバ手數料モ蠶絲家ニ
取ツテ拂フト云フ明ニ義務ヲ生ジマス、斯ウ云フ案ガ蠶業ノ發展ヲ計ルト云フ一方ニ於
テ 併ナガラ蠶業上ノ發展ヲ妨ケル種々ノ苦痛ガアリマス、ソレ故ニ例ヘバ日本ノ蠶
業ノ發展ヲ將來計ルト云フコトニナレバ、此實際上ニ特種ノ利益凡ソ金利ニシマスレバ
ドノ位、ソレカラ蠶業ニ投ジマス資金、ソレカラ所謂之ニ伴フコロノ利益ト云フヤウナ
モノ、例ヘバ他ノ業務ニ對シテハドウ云フ比例ニナッテ居ルカ、是ハ餘程大體ニ於テ考究
スベキ要目デアラウト思フガ、若シ之ガ發展ヲ計ルトシテモ、此蠶業ニ投ズル資本ノ多寡
ニ應ズルダケノ利益ガ無ケレバ大ナル發展ヲ計ルトハ出來ナイ、併ナガラ或點ニ付テハ
斯ウ云フ便法必要ガアル、止ムヲ得ザレバ租稅ノ輕減ヲシナケレバナラヌト云フ必要ガア
レバ、ソレニ應ジテ相當ノ策ヲ講ジナケレバナラヌ、十分ニ私ハ此蠶業ニ關スル普及上ニ、
今日マデノ利益ノ程度發展ニ伴フ 發展ヲナサシメルニ付テ遺憾ナク相當ノ利益ヲ
得テ居ルカ、或ハ蠶業ヲ發展セシムルニハ何等カノ他ノ方法ヲ講ジナケレバ、即チ營業
稅所得稅或ハ地租ノ改正ナリヲシテ、相當ノ利益ヲ與ヘネバ、將來大ナル發展ハムツカ
シイト云フ考デアラウカ、詰リ此業ニ從事シテ居ルモノ、今日マデ受ケテ居ル利益ノ程
度、ソレカラ他ノ業務ニ對シテ利益ノ程度ト云フモノニ付テ、御考ガアルナラバ承リタイ
ト思フ、ト云フモノハ唯發展ヲ圖ルト申シテ、自然ニ世ノ中ガ進歩シテ自然ニ進歩ニ伴
フダケノ自然ノ發展ダケデハ、別ニ當局ノ鞭撻ヲ待タヌ、併ナガラ當局者モ法律ヲ拵ヘ
テ之ヲ發展セシムルニ付テハ、斯ウ云フ利益ガアル、一般他ノ業務ニ對シテ是ダケ特種
ノ利益ガアル、故ニ政府ガ別段獎勵セズトモ自然ニ發展シマセウガ、十分ニ之ヲ發展セシ
ムルニハ其邊ニ付テ御考ガアルナラバ承リタイト思フ

○政府委員(下岡忠治君) 唯今ノ御尋ノコトハ餘程大事ナコトデアリマスガ、非常
ニ調ベニクイコトデ、カネノ其邊ノ事ハヤリタイト思フテ居リマスガ、一般農業ノ方ニ
付テ收入ノコトハ調ベマシタケレドモ、製絲家ノ利益ノ程度蠶種製造ノ程度ト云フコト
ハ、是ハ又營業ノ秘密ニモ屬スルシ、又人々依テ異リ、又時ノ盛衰ニ依テモ違フ、
此項ノヤウニ絲が高イ時ハ非常ニ儲カルガ、一昨年昨年ノ春ノ如キ値段ノ安イ時ハ非
常ニ損ヲシテ居ルト云フヤウノ工合ニ、全般ニ互ツテ統計デキチントドノ位ノ利益デアルト
云フコトハ定メルニ困難デアリマス、併ナガラ一定ノ標準ヲ立テヤルト云フ調ハシタイト

思ッテ居ルガ、急ニ出來惡イノデアリマス、併シ大體ノ觀察デアリマス、スレバ、先ツ普通一
般ノ營業者ガ儲ケテ居ル程度ト餘リ異シテ居ラヌ位ノ見當ニ御考ヲ願ヘバ宜イト思ヒマ
ス

○翠川鐵三君 チョット懸案ニナッテ居ルヤウナ問題デアリマスガ、此蠶種製造ノ資格
ノ限定ニ付テ、政府ノ所見ダケヲ御廻シテ願フヤウニシテ置イタルデアリマスガ、是ハ明
日中ニ御廻シテ願ヒタイ

○政府委員(下岡忠治君) ソレハ此處ニアリマスカラ、差上デマス

○翠川鐵三君 モウ一ツハ種繭審查會規定ノ草案ヲ拜見シマス、第十八條ノ趣意
ト二十三條ト對照シテ見ルト、總テ種繭ノ審查ノ確定權利ヲ地方ノ審查會ニ任
セラレタカノ如ク解釋フモ下シ得ルノデアリマスガ、是ハ昨日モ大臣ニモ其希望ヲ囑シテ
置イタルデアリマスガ、之ヲ承リタイ、ソレカラ二十五條ノ當該官吏ノ任用方ハ隨分此
度ハ此儘通フルカ通ラヌカハ別問題トシテ、免三角餘程重イ權利ヲ一任スルコトニ相成
ル、此任用ノ方針ハ獨リ地方官ニ委シテ置クダケノ御考デアルカ、將此資格ノ限定ニ
付テ大概ドノ位ノ學校ヲ卒業シテ、サウシテ實地ニ付テドノ位ノ經驗ヲ持ッテ居ルト云
フノヲ限度トシテ任用セラルル方針デアルカ、是モ承ッテ置キタイ、ソレカラ私ハコウ云フ
大キナ仕事ヲサセルニ付テハ、學校出立テノ一年ヤ半年仕事ヲシタ者ニ、此犯罪人
ヲ搜查サセルトカ、或ハ斯ウトカ云フコトデハ、誤解ノタメ幾多ノ營業ヲ妨害サルヤウナ
事ガアツテハ困ル、假リニ司法裁判官ニシテモ、學校ヲ出テ試補トシテ一年トカ一年半
練習サセテ、漸ク判事ノ職ニ練習シタ上デ、數年ノ熟練ヲ積デ後ニ豫審判事ナリ檢事
ヲナルデアリマス、斯ウ云フコトヲ搜查スル權利ヲ實行スルニハ極メテ重ク注意スルコト
ハ必要ト思ヒマス、之ニ對スル御考ヲ伺ヒタイ

○政府委員(下岡忠治君) 第一ノハ此處ニ案ガアリマスカラ之ヲ差上ゲテ置キマス、第
二ノ御尋ノ種繭審查會ハ是デ絶對ノモノデアルト云フ御疑デアリマスガ、兎ニ角アレハ諮
問機關デアリマシテ、無論ソレガ最後ノ決定ト云フコトデナイ積リデアリマス、ソレカラ第
三ノ資格デアリマス、資格ハ現行法ニ於テ、ヤハリ政府ヲ訓令ヲ出シテ資格ヲ極メテ居リ
マス、其資格ハヤハリ相當ノ學術ヲ修メタモノ、或ハ一定ノ檢定試驗ヲヤッテ居リマス、
サウ云フ檢定試驗ニ合格シタ者ニ制限ヲ付ケテ居リマス、將來ハ是ダケノ權限ヲ與ヘル
以上ハ、是ノ任用ハ餘程注意ヲ要スルト思ヒマスカラ、從テ其資格ニ付テモ從前通りヤ
リマスガ、或ハ從前ヨリ一歩進ンダ資格ニスル方ガ宜カラウカト考ヘテ居リマス

○平島松尾君 今翠川君ノ御尋ニシタコトヲ今少シ御伺ヒシタイ、此第十八條ト二
十三條ノ關係デスガ、此參考書ヲ拜見シマス、審查會規則左ノ事項ヲ審議シ原
蠶種ノ種類ヲ限定シ云々トナッテ居ッテ、又參考書ノ道府縣ノ施設並ニ方法ト云フ箇
條デ政府ヨリ配布ヲ受ケタル原蠶種ト地方撰出ノ優良種トヲ以テ所用ノ原蠶種ヲ製
造シ「トアリ、或ハ第二項ニ「種繭審查會ニ於テ營業者ノ製産シタル種繭ヲ審查シ之ニ
合格シタルモノヲ以テ原蠶種ヲ製造セシムルカ、又ハ其合格種繭ヲ買收シ原蠶種ヲ製
造配布スルコト」トアリ、第三項ニ「道府縣ハ公益團體、又ハ營業者ヲ指定シ原蠶種
ノ製造配布ヲナサシメ得ルコト」ト云フヤウナコトガアッテ、自カラ此箇條ノ主意ハ種類ヲ
限定スルト云フコトニモナルノデアリマスガ、是ガ地方限デ極ラヌノデ、ヤハリ是カラ總テノ

コトヲ今述ベタ道府縣ノ施設方法ニ係ル一項ニ二項三項ノ如キモノ、若クハ審査會ニ於ケル決議事項ノ如キ一々主務大臣ノ許可ヲ經ルコト云フコトニナルデアリマスガ、モウ地方限極メタルデアリマスガ、此參考書ニ依レバ地方限決定サル、コトニモ見エルサウナレバ自カラ十八條ハ何ノ時ニ適用サル、カハ實ニ分ラヌコトニナルデアリマスガ、私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘタデアリマスガ、其考ガ違ヒマスガ、先ツ各府縣地方々々何年間之ヲヤッテ、ソレカラ或時機ニ至テ五年ノ後ニナルカ、十年ノ後ニナルカ、地方官が種類ヲ制限シ又ハ主務大臣が種類ヲ制限サレト云フ時機が來ルデアルカ、或ル時期ノ間ハ地方ノ審査ノ決定ニ任セル、斯ウ云フ意味ニモナルカト、私ハ考ヘタデアリマス、ソコガハッキリシナイ、サウスト一々審査會決定シ地方施設ニ係ル一項ニ二項三項ノ事項ヲ決定スルノモ、ヤハリ主務大臣ノ許可ヲ經ナケレバ極メタルコトニナルデアリマセウカ、今ノ簡ナル御答デハハッキリ致シマセウガ、今一應

○政府委員(下岡忠治君) ソレハ原蠶種ニ關スル施設並ニ方法ト云フコトニ書イテアル事デアリマスナ、是ハ各種ノヤル方法ヲ規定シタデアッテ、審査會等デドウ云フコトヲヤルト云フコトニナッテ居リマスガ、併シ種類ノ制限ヲヤッタリ或ハ原蠶種ノ製造若クハ受授ト云フコトニ關シテ制限ヲ設ケル場合ニ於テハ、縣令トカ何トカ、法令ヲ要スルモノデスカラ其法令ヲ設ケル場合ニハ、主務大臣ノ許可ヲ要スト斯ウナリマスガ、其間ニ於ケル細カイイロ／＼ノ施設方法ニ付テハ、主務大臣が認可ヲ與ヘルト云フ積リデアリマセウ、併シ種類ノ制限或ハ製造受授制限ト云フコトハ、重要ナルモノデアリマスガ、ソレニ對シテ縣令ナラ縣令ヲ發布スル場合ニ、主務大臣ノ認可ヲ要スル、主務大臣がソレニ付テ十分調査シテ然後ニ之ヲ宜シト云フコトヲ極メルト、斯ウ云フコトニナリマスガ、細目ニ互ル各種ノコトヲヤルノハ、是ハ地方ノ任意ニ任セザルヲ得ナイ、又御想像ノ如キ場合ニ於テハ、暫ク任意ニ任セテ大體ノ制限ヲヤラスト云フコトハ、大體サウ云フ考ヘデゴザイマス、逆モ始メカラ強制シテ此種類ノ制限スルコトニナリマスルト、蠶種製造家ハ随分迷惑スルグラウト思ヒマスガ、暫ク間ハ十分ノ調べヲシテ、先ツ是ナラ宜カラウト云フ見込ガ一兩年ノ中ナリ、數年ノ中ニ付ケバ、愈々法令ヲ以テソレヲ制限スル、地方ヲ制限スルト同時ニ中央モ相當ノ見込付イテ居リマスガ、ソレニ依ッテヤルト、斯ウ云フ考デゴザイマス

○平島松尾君 此蠶種會デ原蠶種ノ種類ノ限定種類ノ限定ノ如キモノハ、是ハヤハリ主務大臣ノ許可ヲ得ナケレバ決定シナイト云フコトニナリマスガ、ソレヲ一ツ、ソレカラ是ハ各府縣デ原蠶種製造所ヲ置イテ、四十何縣ニナルカ——四十何縣ニナルカ二十何縣ニナルカ、多數ノ縣縣デ種類ヲ定メルデアリマスガ、之ヲ統一スルト云フ時が初メテ此第十八條ノ場合が必要ナノデ、當分ノ間ハ此第十八條ヲ適用シテ全般ニ互ッテ種類ヲ制限スル時期ハ來ナイグラウト思フデアリマスガ、政府委員ノ今ノ御説デハ此ノ如キモノデアルト云フ御話デシタカラ、サウ心得デ宜シウゴザイマセウナ、尙一應伺ッテ置キマス

○政府委員(下岡忠治君) 製造ノ制限ハ出來ルガ、種類ノ制限ト云フコトハソレハ急ニ出來ヌ積リデアリマス、種類ノ制限ト云フコトハ是非常ニ狹イ範圍ニ制限ヲスルト云フコトデアルト、ナカ／＼急ニ行ヘナイガ、範圍ヲ少シク廣クシテ制限スルト云フコトデア

アレバ、ソレハ餘リ長キ歲月ヲ要セズシテ、主務大臣ガ定メル時機が來ラグラウト思ヒマス、餘リ狹クスト、自然當業者ニ苦痛ヲ與ヘル場合モ多イデアリマスガ、是ハ餘程考ヘモノデスカラ、逆モサウ急ニハ行カナイグラウト思ヒマス、ケレドモ廣イ範圍ニ於ケル制限位ノモノハ出來サウナモノデアラウト云フ考ヲ有シテ居リマス

○村上先君 是デ以テ一先ツ質問ハ終了ノコトニ致シマシテ、尙質問ガアレバ又討議ノ際ニスルト云フコトニシテ、是デ質問ハ終了ノコトニ願ヒタイ

○委員長(野田卯太郎君) ソレデハ一先ツ是デ終了シテ置キマス

○久保田與四郎君 私ハ先日大臣三伺ッテ蠶業大方針ト云フコトヲ質問致シタコロガ、具體的ノモノデアレバ答辯スルト云フコトデアリマシタ、ソレサウ具體的ト云フノデアリマセウガ、多少考ヘタコトデアリマスガ、大臣ガ御出席ニナッタナラバ蠶業上ノ大方針ト云フコトニ就テ一言質問シタイと思ヒマス、是デケノコトヲ留保シテ置キマス

○委員長(野田卯太郎君) ソレデハ一應質問ハ終了シタモノトシマシテ、何カ別ニ委員長ニ於テ必要ノトキハ、更ニ質問會ヲ開クコトモアルベシ位ニシテ置キマス、是デ閉會シマス

午後三時十五分散會

(參照)

一蠶種製造ヲ免許スヘキ要件ハ左ノ如シ

- (イ)豫定蠶種製造額ニ對スル蠶室蠶具及桑園ノ設備ヲ有スルコト
- (ロ)五箇年以上養蠶又ハ蠶種製造ニ従事シタルカ又ハ蠶絲業ニ關スル學識經驗ヲ有スルカ若ハ此ノ資格アル者ヲ雇備スルコト
- (ハ)蠶絲業法ノ規定ニ依ル重大ナル犯罪ヲ爲シタル者ニ付テハ一箇年ヲ經過シタルコト

(備考)

學識經驗ノ程度ニ付テハ別ニ内訓ヲ以テ地方長官ニ指示スルコト